

1. 住民の声や、将来的な予測をもふまえながら、事業展開していこうとしているところ。2. 今、しなければならない事業を専門職やボランティアグループとともにつくりあげていこうという姿勢
1. 住民の声や状況(統計他)、環境など地区の要因から、健康な街をめざして、事業企画・運営し、組織育成しているところ 2. 健康問題、生活問題など困難事例より、他機関、組織と連絡調整し、解決に向け動いていること
1. 住民の声をひきだし、主体的に活動してもらような働きかけを心がけていること
1. 住民の声をよく聞いて、事業の企画・運営をしようと努めている
1. 住民の声を企画の中に生かし住民と一緒に保健事業を展開していること。
1. 住民の声を施策化、サービスに反映すること
1. 住民の声を生かし、そこから得た情報を基に事業の企画運営していること
1. 住民の声を大切に、事業に生かしているところ
1. 住民の声を大切に、事業の企画・運営を心がけていること。2. 地域を把握するために統計など活用していること。3. テームワークを大切に、業務をしやすい環境作りに努めていること。
1. 住民の声を大切にし、なるべく住民が楽しませようと思っていること 2. 他の専門機関の職員と積極的に関わり連携をとろうとしていること
1. 住民の声を大切にし、専門職としてそれなりの(効果的な)かかわりをしている点
1. 住民の声を大切にした、次年度の計画、教室づくりをしていること
1. 住民の声を大切にしている 2. 他機関との調整役をしていること
1. 住民の声を大切にしていること
1. 住民の声を大切にしていること 2. 看護や医療の知識を生かした専門職として関わりそこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること 3. 今まで積み重ねてきた仕事を生かせる部署に所属させて欲しい(軌道にのってきたところで配転時期になってしまい全く違う部門に異動になってしまう)
1. 住民の声を大切にしていること 2. 弱者(?)の立場に立って連携していること
1. 住民の声を大切にしていること 2. 専門職として事業の運営をしていること
1. 住民の声を大切にしていること。2. 情報収集をしながら先を考えたい企画、システムづくりをしているところ
1. 住民の声を大切にしていること。2. 情報収集をしながら先を考えたい企画、システムづくりをしているところ
1. 住民の声を大切にしていることまた、その声を企画・運営に反映させたいと考えていること 2. 看護や医療の知識を生かした専門職としてだけでなく、住民にとってのよりよい生活という視点も持ちながら住民と関わっている
1. 住民の声を大切にしているところ
1. 住民の声を大切にしながら、事業の企画運営をしていること
1. 住民の声を大切にしながら市民サービスの向上を第1とする姿勢で日常業務を行なっていること
1. 住民の声を大切にすること。2. 支援の必要なケースへの十分な対応。3. 地域、住民の情報を事業の企画へ生かしていること。4. 数値だけでない評価。
1. 住民の声を大切に活動していること。
1. 住民の声を聞き、それを事業に反映させること(事業の円滑な運営) 2. 住民のニーズを感じ事業の企画、運営、評価する視点を持っていること
1. 住民の相談に関り、客観的総合的にニーズを把握し、対応していること(しようとしているところ)
1. 住民の相談業務が多いが、その内容をストレートに上司に伝えにくいところもあるが量的質的な面がみえにくい。住民の困りごと相談を常にやっていること 2. 1人1人の力量がなかなか見えず、保健師は、と一掃一からげに評価されるところあり素晴らしい人もいるのでそれを上司にうまく伝えたい
1. 住民の相談窓口、専門職としての関わり、必要な連携に努める。2. 高齢者、障害者等弱者の住民の声を代弁、大切に業務に反映させていく。3. 介護の原因疾患等分析等の統計処理、介護予防事業の企画、運営。
1. 住民の地域性をみながら、独自の事業を展開していること。
1. 住民の方々のかかわりを大切にして、活動しているところ 2. 住民の声を大切にしながら事業を考えているところ
1. 住民の立場にたったサービスを考え、(他職種の見解を聞きながら)事業の企画、運営をしていること
1. 住民の立場に立った事業(相談、指導等)を企画し運営 また、見直ししていること。2. 住民にとって必要なことであれば、連携の必要な関係者への働きかけをしている。直接的に問題が他課であっても相談窓口、コネクションとして、動きまわっていること。3. 必ず事後フォロー、確認をしている(その時だけの業務は少ない、継続して、相手とつながっている)
1. 住民の立場に立って、住民のいのちと暮らしを守る行政職員としての役割を考えながら仕事をしていること。 2. 係の長は事務職なので専門職として理解のうえ評価していただきたい。
1. 住民の立場に立ってものごとを考えられるようにし、住民の声を大切にしている。
1. 住民の立場に立って関わっていること 2. 訪問を密に行い住民の声を大切にしていること
1. 住民の立場に立って業務の企画、立案、実施をしていること 2. 客観的データを分析しながら、関係機関、住民、職場に情報を提供し、運営していること
1. 住民の立場に立って考え、住民と共に地域をつくり上げていく。2. 他機関との連携の充実
1. 住民の立場に立って物事を考えるようにしていること。
1. 住民の話を聞き、何が問題なのか考えた上で仕事をしていること 2. 自分の意見を押し通すのではなく、他の人の意見を聞きながら参考にする 3. 与えられた仕事を正確にしていこう
1. 住民への感染症等についてのけいも活動 2. 問い合わせについてはできるだけ詳しく答える
1. 住民への関わり(具体的な方法やフォローのし方を評価していただき反省材料にしたい) 2. 地区診断について(他の方の視点を知りたい)
1. 住民への対応 2. 仕事への取組み
1. 住民への直接サービスを実施することにより、住民ニーズを把握すること、そこから政策提言すること。2. 情報管理について何が必要かの提言出来ること
1. 住民や、相談者の立場に立って、事業、相談等を進めようと努めていること。2. その時々、仕事の状況、自分の置かれている立場を考え、資格取得をしたこと。(ケアマネ、PSW)
1. 住民や地域の健康課題を総合的にとらえ、施策の企画、立案、実施及び評価を行っていること。2. 保健師の資質向上に努めていること。
1. 住民一人ひとりが主体的に取り組める健康づくりの方法を、住民と共に考え、事業として企画・運営していること。
1. 住民一人一人の意見に耳を傾け疑問点があればいろいろな情報を集めて本人と確認に返すところ 2. その日に計画した業務をやりとげるところ 3. 指示されたこと報告日を守るところ、忘れないように手帳を活用しているところ(もれたりがないよう)
1. 住民活動や能力付与の結果自身が評価されればよい。

1. 住民個人個人に対して大切に待遇(接している)こと!!
1. 住民参画・共働で事業の企画・運営をすすめていること。 2. 庁内の調整機能や他機関・団体等との調整機能がすぐれていること 3. 専門職として、女性としていろいろな分野に提言できること
1. 住民自身の要望をよく聞き、できるだけ意向に沿った形で支援していること 2. 関連した職員自身が仕事にやりがいを持ち、前向きにがんばれる様支援していること
1. 住民主体に考え、サービス提供に努めているところ
1. 住民組織と直接手を組み、連携して健康づくりや育児支援を推進していること 2. 住民組織のパワーに参画していること 3. 住民と同じ立場に立ち、常に住民の方に向かっていくこと
1. 住民側からみて、どんなサービスが必要とされているか、どんなサービスがあると暮らしやすいかに視点を置いて考えていること。2. 数値的なことよりも、1人1人のサービス利用者の満足度を大切にしていること。3. 専門的な知識を生かして、行政のサービスを考えていきたい点
1. 住民地区組織の活動支援 2. 家庭訪問等で、個別対応と、住民の声を大切に健康づくりにとりにくんでいること
1. 従来の事業ではあるが、継続実施できていること 2. 窓口対応をしても、その中で気にかかること(虐待ハイリスク)住民の困り事などを大切にし、家庭訪問等の事業につなげていること
1. 如遇困難事例や、他機関との調整の必要は事例に対して一連の支援ができること(ケアマネジメントの視点で) 2. 個別の事例から地域の課題、地域支援の視点へ広げて、関係機関との調整を図って行く姿勢を持っていること
1. 所属する部署の中で、ほとんどの全ての業務を把握し、住民に対応していること。2. 本所との連携を図りながら、地域の保健衛生に対する要望に対応していること。
1. 消耗品については、住民の生活の中にあるものをできるだけ使い、むだを省き運営する努力をしていること。
1. 常に住民が接しやすい存在になることを心がけ、他職種、他機関との連携を含めて人間関係を円滑に築いていく中で、専門職としての力量を発揮していること 2. 専門職として住民と関わりそこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。
1. 常に住民の視点に立つよう、住民の声を大切に、看護や医療の知識を生かして、生活者として住民が最良の環境を整備できるよう行政が、横の連携をもって事業を企画・運営していく努力をしている
1. 常に住民の立場になり接しているところ。2. 訪問の際には、その人のことだけを見てみるのではなく家族全部としてみているところ 3. 事業の企画をするにあたり、住民が参加しやすいよう情報を集めて行なうところ
1. 常に住民を主体と考え、住民の生の声を大切に活動していること 2. 他課や、関係機関と一体になって活動していること 3. 家庭訪問の件数や相談件数で評価されることが多いが、量より質だと思います
1. 常に住民側に立ち、現場をもって1.のような、仕事をしているということ、ただのデスクワークではないこと。2. 現場で判断がされることに、上司が必ず責任をもってほしい、そういう仕事をしているということの評価してほしい。
1. 情報を業務の参考につかえること。2. 業務にまじめに取り組むところ 3. 職場全体の環境について気を配っているところ
1. 職員の健康管理における 健診と事後指導及び健康教育と相談を実施しているが、疾病による病気休暇取得状況がよい結果としてみえてこないこと 2. メンタルヘルス相談を精神科医及び保健師で実施しているが、長期病休取得あるいは、再燃するケースが増えていること
1. 職員の仕事への意欲の改善状況 2. 住民サービスの姿勢
1. 職員の仕事上の問題の相談にのり、上司に説明し解決していくこと 2. 住民の声を大切に、ちょっと遅れたがSARS予防講演会を企画したり問い合わせ窓口にかかわったこと 3. 宮城県北部連綿地産の保健師派遣にかかわり、災害時要緊急対応者一覧を職員と作成したこと
1. 職員の声を大切に健康で働きやすい職場づくりに日々努力している点。2. 多くの事業を計画的に行いながら、前例にとらわれず、職員の立場に立った新しい事業展開を考え、実践している点。3. ひとつひとのケースを大切に、流心流意関わっている点。
1. 職場が楽しい仕事やりやすい状況に常に努力していること 2. 市民ニーズの把握に努め、市民サービスの向上をいつも思っており、事業に取り組んでいること
1. 色々なデータを経年的、コスト的、住民の声などからみるころ
1. 寝たきりや痴呆の予防、改善に介護保険を役立てていること。2. 寝たきりや痴呆に対応した質の高い療養に役立てていること。
1. 心理的支援を重視した活動をしているところ
1. 新しい社会問題(虐待、ひきこもり等)に前向きに取り組む点。(相談業務の充実(情報の収集)や新規事業を提案、実施) 2. 新規事業を行う際、他職種、他機関と積極的に連携し、事業の安定や拡大に務めている。
1. 新しい発想。
1. 新しい分野にチャレンジした時の計画内容、方法、次回への反省 2. 優先順位をつけて仕事をしていること、理由なく不要なものなくそうと努力していること
1. 新たな観点で事業の改善見直しにとりくもうとしている姿勢。2. 依頼に対し、期日を守り必ずやりとげていること。
1. 新市としての保健業務の基礎づくりができた。対住民対関連機関 2. 合併により保健業務が向上した 住民の健康レベルアップと住民が健康な地域づくりをしようという気もちの向上
1. 申請受理を例にとっても、住民の声を大切に、きめ細やかなサービスに心掛けているところ。
1. 人、金がない時代に最大限、工夫と意欲で乗りきってきた点(予算がつかなくても、特別なツールがなくても、出来る仕事、住民サービス提供出来ることがたくさんあるという事を後輩に伝えている) 2. 目立つ仕事ではないが、地道に住民に対応した相談で20年以上経過した今になって、あの時貧乏に出会って相談したから今、自分たち親子は生きて来られたんですという風に住民に言われました。住民一人一人を大切に誠実に相談にのっているという点
1. 人が替わっても、不在でも、同僚に自分のケースや実施中の事業がわかるように記録や実績を明らかにすることに努めている(住民や事務職に迷惑をかけない)、保健師活動の不透明部分の明確化 2. 人生経験、保健師経験を生かし、個々の活動に差が出ないようケースの共有化(情報、意見交換)につとめている 3. 住民の声を第一に、他課への提案、協力体制づくりにつとめている
1. 人とのコミュニケーション能力 2. 対人、対組織との調整能力
1. 人と人とのつながりを大切にしていること 2. 自主勉強(勉強会や講演会等)に積極的にとりくんでいる時 3. 訪問時の対応の仕方を良し悪しを指導してほしい
1. 人の全ステージにどのような視点からでも科学的、人間的に関わることができること 2. 住民ニーズを行政に反映することができること
1. 人の立場に立って考え、動き、人の為に役立つこと 2. 事業を効果的に行えるよう模索することに努力を惜しまない事
1. 迅速に情報収集を行い、公衆衛生を守るためになるべく適確な判断をしていること。2. 地域住民にむやみな不安・心配を抱かせないように、適切な情報提供、教育を行っていること。
1. 数字ではあらわれない住民の生の声、思いを大切にすること 2. 相談、家庭訪問などについて、看護や医療の知識を生かして、関係する業務を大切に、本人、家族の思いを引き取りながら、保健センターが住民にとって身近な相談機関となるような雰囲気づくりを心がけている 4. 住民に対して自分の主観や先入観を入れず、生活背景、本人の思いを把握しながら病態生理の知識を伝達し、本人の生活改善のために具体的なアドバイスを行うこと
1. 数字では、あらわせない、住民の満足度を重視している所。2. 総合的にマネジメントしている点。
1. 数字ではあらわれない部分
1. 数字では出てこない、住民とのやりとりや、打ち合わせを大切にしていること 2. 住民自身のマンパワーをひき出すことに重点をおいていること
1. 数値では、評価できないプロセス評価について
1. 数値的评价是得られにくい、長期的関わりを通して問題解決へ取り組んでいるところ。 2. 地域の特徴を生かし、多くの資源を活用していくところ。
1. 数的な評価がしにくい業務も多いが、長期的に考え、効果的な事業であることを上司に理解してほしい。2. 保健所全体として保健事業に取り組む姿勢を強化したい
1. 生活者の視点から業務内容を見なおし、日々の生活にとり入れられるサービスを提供している事。2. 介護保険制度を運用していく中で、制度が利用者の意向に沿った形で具体的な対策となる様、働きかけている事
1. 生活者の立場に立ちニーズの把握を事業化にむけ努力していること 2. 地域型在宅介護支援センターでかかえている困難ケース等についてインフォーマルサービスを開発したり、関係機関とケースカンファレンスして、役割分担し少しでも改善が図られたこと
1. 積極的に住民と関わっていきたくて思っていること。※現在は保健師のまとめ役になっているため、自分の業務を覚えるのに精一杯で、後輩育成まで、うまくできていないため、自分の仕事のどこも評価してもらえないまでいたっていないと思う。

1. 専門家の知識や、住民の声、情報の推移等を基に事業の企画・運営・評価をしていること。2. 長い目をもった上での企画等であり、将来を考えたものである事。
1. 専門職(看護、医療)として、住民に接し、アドバイスし、介護予防子育て支援をしている事
1. 専門職が1人きりの職場で市の国保の人を対象者として事業の企画、運営をしていること
1. 専門職でありながら予算・支払い事務・補助金請求事務などを行っており、一連の流れが理解できている。2. 課員の企画立案したことを実現できるようサポートしている
1. 専門職として、個人や集団でかかわる人との出会いを大切に、ニーズに応じた誠実な対応。
1. 専門職として、事業への企画立案 2. 住民主体の地域活動
1. 専門職として、住民と関わり、知識の普及に努めていること。2. 事業を行うにあたり、参加住民の意見や要望をできるかぎり、汲み上げようとしていること。
1. 専門職として、住民に関わり、自立して、自分たちで活動や生活を高めて行けたこと。
1. 専門職として、住民の健康、管理へのアドバイスができること。
1. 専門職として、住民の声を大切にしつつ当事者、家族の支援をし、調整をしていること。2. 教室の企画、運営を前年評価に基づき積み上げ参加者から好評を得ている。
1. 専門職として、住民個々の健康問題解決の為に、指導力を発揮していること 2. 住民の声を行政施策に反映すべく、事業を評価改善していること
1. 専門職として、地域で仕事をしていること。目に見える効果がなかなか出せないが、住民の健康増進、地域の活性化、地域の健康度をあげるような事業を実施していること。
1. 専門職としてのスキルを生かしながら相談者が問題解決できる様に助言、支援していること 2. 相談者からの情報を収集して、分析した中から今後の事業の向上に役立てていくための問題提起をすること
1. 専門職としてのそれぞれの優れたところを見つけ、伸ばすため、提出物等をていねいに読み、指導の機会にしている。2. 他の部署から見た当課に対する客観的評価を得るよう努め、異動のない専門職の集団としての弊害にも配慮している。3. 多職種連携がうまくいくことで、事業効果は、アップする。自分以外の職種との交流、そして、優れた点を引き出すよう努めている
1. 専門職としての仕事の他に他の事務職員と同じように行政の中の事務も行っているところ。 2. 専門職として他の関係機関と密に連携を図っているところ。
1. 専門職としての視点を生かした業務を行っているかどうか 2. 行政能力(事業の企画・運営・予算)
1. 専門職としての事業の企画、実施、評価 2. 地域との連携(住民とのつながりを大切に)
1. 専門職としての住民とのかかわり(相談、面接など)から情報を他へ伝える 2. 救急対応の困難さ
1. 専門職としての住民との関わり
1. 専門職としての住民との関わり、その関わりを大切にしているところ
1. 専門職としての住民との関わり方を事業に反映している
1. 専門職としての住民と関わり、住民の意見や意向を基に事業の幅を持たせる活動に展開している事、例えば家族交流事業の実施後家族のつどいを行い、継続的に交流の機会をつくっていく等
1. 専門職としての相談業務
1. 専門職としての知識・視点を活かすこと 2. 住民の声を主体に考えること
1. 専門職としての知識の修得、他組織との連携後の業務へいかしていること
1. 専門職としての知識や技術を常に研さんしながら、業務生かせる様努力している 2. 住民のニーズを常に配慮しながら、業務に生かす様努力している
1. 専門職としての知識や他の資格を生かした情報処理能力 2. 知識を生かした個別指導
1. 専門職としての適切な判断とその結果が生かされたこと
1. 専門職としての特性をいかし、事業の企画・運営・事務処理まで、すべての一連の業務を関与していること。
1. 専門職としての判断
1. 専門職として企画、運営、評価、事業への反映といった組み立てを行い、事業を行っていること 2. 形として、数字としてあらわれにくい予防事業を、専門職として行っていること
1. 専門職として個別のケース対応においてその状況に応じてマネジメントを適確に実施していること。2. 区の問題点を検討し必要なサービスの提供に向けて努力していること。
1. 専門職として事業の企画・運営をした上で、予算作成や事務的部分もかなりこなしていること。
1. 専門職として住民、ケースの立場に立った見方、処理のしかた 2. 面接のしかた
1. 専門職として住民とのかかわり、又かかわった後の住民の行動の変化など。
1. 専門職として住民との関わりやその視点でプラン、DO、See、評価を含めて、保健、福祉、行政を形成推進していること(きたこと) 2. 住民や、町職員から信頼のえられる活動をする事を理念としていること 3. 苦情から、日常行政を修正していること。(職員質の向上にむけて反映している努力をしていること)
1. 専門職として住民と関わっているところ、それを基に事業の企画・運営をしているところ
1. 専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画運営をしているところ 2. 地域を歩いての住民の声を大切にしているところ 3. 個を大切にかかわろうとしているところ
1. 専門職として住民と関わり、住民の健康増進のために訪問活動を行っていること 2. 住民が必要とするサービスを聞いた際、他職員と連携し、情報を提供していること
1. 専門職として住民と関わり、情報・ニーズを把握し、事業の企画・運営をしている 2. 住民との関わり大切にしながら、活動している
1. 専門職として住民と関わり、保健事業を展開していること
1. 専門職として住民の健康向上のために訪問や相談など細かなサービスを地道に行っていること。2. 住民の健康向上のための1つの基盤として、情報から研究や分析を行ない、保健活動に役立てていこうとしているところ。
1. 専門職として住民の声を大切に、ニーズに合わせて事業計画を立て運営をしていること 2. 住民から信頼して頂けるよう誠意をもって対応していること
1. 専門職として他機関との連携ができること。
1. 専門職として対住民サービスを実施し、かぎられた予算の中で、事業の企画運営にとりくんでいること。
1. 専門職として地域の人々(保護者や子ども達)の保健相談や健康教育に役立っているのではと。
1. 専門職として民生委員や住民と関わり、処置困難の事例について、すぐに関係機関と連絡をとり対処しているところ 2. 既存の事業について、その事業に応じて参加者の考えを変えていこうとしているところ
1. 専門職として得た情報、知識、実態(エイズ、性感染症、結核、等感染症)を事業の企画、運営にいかしていること 2. 学校、病院、NPO(主にHIV、性感染症関係)と積極的連携をとり、行政の中にとりこんでいる
1. 専門職の管理職として、様々な調査を行い、課の業務・人間関係等がなるべくスムーズに流れるよう配慮していること

1. 専門職を基盤としながら、他分野(行政職等)についての視点を兼ね備えた事業運営に心がけていること 2. 常に住民の視点にたった活動ができる様にタイムリーに柔軟性をもって事業運営に心がけている
1. 専門性を生かして活動している中で、事業企画・運営していること。2. 限られた時間の中で最大限の効果を出そうと事業に取り組んでいる姿勢。
1. 専門性を生かして地域活動をしていること 2. 住民の様子を訪問等を通じて把握していること 3. 予算を使わずに事業をしているところ
1. 専門知識をどんな時でもどんな場所でも使っていけること(地域、職場すべての場で) 2. 1つ1つの小さなケースから、地域、校区など広い場まで、問題を提起出来る
1. 専門知識を有し、個別支援における判断・助言ができること 2. 地域全体の底上げを視点にもっていること
1. 専門的知識を生かした窓口・電話相談等を通し、住民のニーズの把握に努めている
1. 相手の立場や状況を把握し政策に生かす仕事を心掛けている 2. 事務職や他関連職種とのパートナーシップ 3. 市民の声を大切にしている
1. 相談業務の専門性 2. 話を聞いているのではなく、1. 問題解決への知識、技術(連携も含めて) 2. 話を充分に引き出す面接技術 3. 予測性をもって、ニーズをとらえる 2. 事業の企画運営に専門性を活かせることはあると思う
1. 相談業務遂行上、全人的に良心を持って関わり、信頼を得ていること。2. 多様な業務を同時進行させるために、思考が途絶されるが、なんとか事故もなく、しのいでいること。
1. 相談者の話を十分に聞き、必要な支援に結びつけるようにしている 2. 住民の声を大切にしながら、健康教育の内容等、興味あるものを実施している
1. 相談所長職に就いて4年目を迎え、管内全般的な健康課題を捉えるための現状分析をしていくために努力していること。2. 相談所係員が円滑に活動できるように人間関係やそれぞれの健康管理に配慮し苦心していること。3. 困難事例は全て把握し、係員とともに処遇について検討するように努めていること。
1. 窓口での相談業務にできる限り親切にいい対応、必要時には関係機関を紹介したり、情報提供していること。
1. 窓口相談来所者のフォローを適切に、各保健センターへ結びつけること 2. 個々のケースの相談があればのっていくこと
1. 他の関係部所と連携をとったり、各々の職種に事業に入ってもらいながら、より専門的に効率的に事業をすすめている
1. 他の機関との連携を密にしているところ
1. 他の実施機関や、住民からなどの意見、苦情に対し、できる範囲で業務の改善をしている。2. 事業の報告・考察などをきちんとしていく。
1. 他機関との連携だけでなく、自分の職場内でも密に連絡をとり合って業務がスムーズにすすんでいくように努力していること 2. 事務仕事よりも相談や訪問に時間がとれるように効率よく仕事をしているところ
1. 他機関より依頼のあったケースへの個別対応を細まやかにしていること
1. 他職種、関係機関と連携し、業務運営をしていること。2. 業務評価を行なって、その評価をもとに改善しながら業務を行なっていくところ。3. 専門的な内容も事務職とともに進んでいるところ
1. 多くの種類の業務を、専門知識を日々更新しながらこなしていくこと 2. 専門知識だけでは到底対応できない仕事内容もあり、結果を数値で現しづらい内容であるが、住民(母子・成人・老人)の声を身近できき、大切にしていること
1. 多分野(母子、精神、福祉、介護)の業務に関わりを持っていること 2. 机上ではなく、現場での活動を重視していること 3. 業務量が多いが、それに対応している所 4. わからぬことを勉強しようとする姿勢 5. 他部門と連携をとうとうとしている所
1. 対応困難なケースへ、新たなサービス等の情報を収集しながら支援していること。2. 対応ケースの集計、評価をまとめ上司、関係機関に報告していること。必要時、住民の声を行政に報告している(転入高令者への訪問、高齢世帯訪問を通して)
1. 対象者1人ひとりの問題を常に地域の健康づくりと連携して考えている 2. 健康問題を生活と関連して検討し、対策を考える 3. 区民が主体的に健康づくりが出来るよう事業企画をしている 4. 国保にある情報を区民や他の組織にわかりやすい形で提供し、活用している
1. 対象者に丁寧に、その方たちの声を大切にしていること
1. 対象者の思いや、関わるスタッフ、住民の声に傾聴するようつとめ、その意見をもとに事業の内容を企画していること。
1. 対象者の声を大事にした支援、共感、支援目標をともに考える(緊急時は除く)、押しつけない。
1. 担当している業務に対しての専門的知識、技術、ネットワーク
1. 担当している事業がスムーズに実施されるよう関係機関や専門職との連携、スタッフへの配慮をしていること 2. 地域を見る観点から、統計処理はもちろん、住民や、スタッフの声を大切にしていること
1. 担当業務については、ある程度のフォローを行い、事業評価、次年度計画を文章化しているところ
1. 担当事業ごとの来所人数だけでなく、事業の質や効果もみてほしい。2. 住民が自立した活動をしていくまでの支援、要で支える仕事、表面的にはならない部分 3. 困難な個別ケースに関わった時の他機関連絡、地域への連絡等の多くの労力
1. 知識を生かして対象と関わり、他機関とつながりを持ちながら、対象の特性にあわせた活動をする 2. 全年齢全市民を対象に、関わっていくこと 3. 健康づくり活動をすることが、街の元気づくりにつながっているところ
1. 地域アセスメントを行い、住民のニーズにあい、かつ実現可能な企画・立案を行っていることについて 2. 特定集団におけるニーズの把握から、育成・運営にいたる一連のプロセスに対する援助技術について
1. 地域からの情報を常に収集し、担当地区毎にまとめ、他の職種へ情報提供できる。2. 地区診断をし、企画立案できること。
1. 地域から得た情報を、事業の企画、運営をしていること 得た情報は、必ず地域に返すようにしていること 2. あらゆる機関と連携し、事業を実施していること
1. 地域でのネットワーク活動に対しての成果 2. 支援センター活動が活発に実施される等の指導効果
1. 地域で虐待など専門職でなければわからない業務を日常業務として実施していること 2. 健康と予防の視点で専門職として業務していること
1. 地域で生活する上で困難をかかえた住民に対し、支援をする事で安心して生活できるようになる事 2. ケースを通じて共通する問題を抱えた人々を組織化して自主グループ支援ができる事
1. 地域で把握した問題を解決してゆくための企画、解決のための組織づくり。2. 事例処遇能力。
1. 地域と密接に関わり、住民と身近な存在であり住民、地域のニーズを把握していること。2. 保健という目に見えにくい仕事内容だが、専門職として住民と関わっていること。
1. 地域における問題点を見つけ出し個別対応からグループづくりをしていきたいと思っている事
1. 地域に出て住民のヘルスニーズを把握し、事業の評価、今後の計画に活かしていくこと 2. もぐらたたきではなく、“予防活動”に力を入れていくこと
1. 地域のさまざまな資源、マンパワーを活用し、住民の健康の保持・増進に関わっていること。 2. 住民にとって、とても近い存在であること。
1. 地域のニーズを把握し、事業展開しているところ(ニーズを企画・運営に生かしているところ) 2. 住民サービスとくに個別支援のかかわりを実施しているところ
1. 地域の健康課題を分析する中で住民の声を大切にしながら健康政策を考えていること 2. 個人を大切にすることで法律の枠を越えてもその人の課題に何とか対応できないか検討していること
1. 地域の健康問題を把握し、政策立案し事業を企画・運営すること 2. 処遇困難事例に対し、本人家族の意向を尊重しながら地域の保健・福祉サービスを効果的に提供できるよう関係機関の調整等を行っていること
1. 地域の実情を地域に出向き把握しそれを集積分析、課題を提示し事業に反響している、また上司に精神保健福祉行政の重点事業をあげ予算化の実現をはかることをしている。2. 地域が「精神保健福祉(障害者)を支える」実施出来ることから行動がおきて来ている、行動変容 3. 1つの事業の実施にとどまらず、当市の精神保健福祉に関わる医療保健福祉の専門職種がネットワークが実現し、共通理念を確認してそれぞれの役割をはたせる、足がかりが出来た事
1. 地域の実態をとらえて専門職として仕事をしていること。
1. 地域の状況、住民の生活の現場を直に触れる職務であること。住民の声を大切にしていること
1. 地域の人の連携をうまくとりながら専門性を活かし公平な立ち場で情報をやりとりしながら問題解決を行っていく

1. 地域の中で、ネットワークをひろげ、保健活動を行うこと。 2. 家庭訪問による個別支援から、地域の健康問題を考えようとしている。
1. 地域の中で、協力者(キーパーソン)を発掘する力 2. 訪問、面接した人から、信頼されること
1. 地域の問題事例や対応困難事例の対応に、日々取り組んでいること
1. 地域の問題点を把握し、市の政策にそった健康問題を行政主体ではなく住民主体で保健事業を展開してゆけるよう企画、運営していけること 2. 住民が楽しく参加できること
1. 地域へ出向いて連合町会長や女性部長等と話し合い、地域で健康づくりの取組みが一緒に行えたとき。またその時に住民が参画できるプログラム、住民の意見で地域と一緒にやろうという動きになったとき。2. 係員へ方向性を示し、目標を共有し合えたことで、次の一步を踏み出すこと。(実地研修)
1. 地域をまわり住民の暮らしをみて、住民の声を大切に事業の企画・運営をしていること。
1. 地域を見、地域からの問題提起のあるものを、保健所の業務として、位置づけたいと思うが、職員間での合意が得られにくい。地域活動について正しく評価してほしい
1. 地域を見る観点から、統計処理はもちろん住民の声を大切にしていること。は実践してきたと思うし、大切なこと。2. 施策化するためには自分で予算書を書けるようにしておくこと。
1. 地域を知り、地域の中に出ていくことが活動であること。2. 訪問(同行訪問も含め)の大切さ。
1. 地域活動を重視し、住民や地域の実情から得た情報を、事業の企画・運営に役立てていること
1. 地域住民からの声を業務に生かし、健康教育等の事業へ多く対応しているところ
1. 地域住民とともに業務を立ち上げ運営していること 2. クリニックや他の業務でも1単位の仕事をフルにつかっている仕事の突状
1. 地域住民とのかわりを十分に行っている 専門職として知識を十分伝達できている。
1. 地域住民との関わりの中から、地域の特性などを把握し、事業に反映させている 2. 関係機関との調整力
1. 地域住民との関わりを大切にし、住民の声に耳を傾けるように心がけていること。
1. 地域住民のエンパワメントを高め、地域住民が主体的に健康づくり等に携わるように人材育成や地区組織活動を通して1次予防、0次予防の推進に努めていること 2. 児童虐待予防、防止を推進するため関係機関との連携を深めるためのネットワークの構築に努めていること
1. 地域住民のために時間外でも会議や、自主組織の集会などに参加していることを(社会資源を増やすためにetc)一(地域全体のことを考え)業務として認めてほしい 2. 地域住民の声(相談)をていねいに聴き、関わっていること
1. 地域住民の健康の保持増進に役立っている(と自負している)ところ 2. 地域住民の方々が、自分達で自主的活動できるように援助しているところ
1. 地域住民の思いを大切に関係づくりをしたり、事業展開を行なっているところ 2. ひとつひとつの事業に、自分自身の信念をもって、大切にとりくんでいるところ 3. 関係機関との連携を大切に人間関係を大切にしているところ
1. 地域住民の声から事業運営を考えるよう努力しているところ 2. 専門性をもって、仕事をしていること(基本的な技術、知識)
1. 地域住民の声を大切に、それぞれの住民が必要としていることに答えるため努力していること。
1. 地域住民の声を大切に、町の保健福祉政策に反映させているところ。
1. 地域住民の立場に立って健康増進につとめ、広く住民の声をきくようにしていること
1. 地域性をみでの事業の企画、立案、実施である。2. 少数であろうと係らなければならない対象がいる。
1. 地域組織へ専門職として関わり、健康づくり活動に援助してきたこと 2. 小グループが主体的に活動できるように援助してきたこと 3. 困難事例解決の為、積極的に関係機関に働きかけてきたこと
1. 地域保健、公衆衛生、看護、医療の知識を生かした専門職としての地区診断、事業の企画、運営を行うこと 2. 専門職として相談業務を大切にしていること
1. 地域保健、公衆衛生・看護・医療の知識を生かした専門職としての地区診断、事業の企画、運営を行うこと 2. 専門職として相談業務を大切にしていること
1. 地域保健、福祉の専門職として住民と関わり、健康づくりについて、一緒に考えている。住民の声を大切にしている。2. 保健、福祉、医療にかかわる他職種との連携に力を入れ、地域ケアシステムの構築に努めている。
1. 地域保健の視点から事例の生活全般を考慮した支援について考えていること。2. 住民と直接接する業務が多く、住民の意見や悩みを聞く相談業務が多いこと。
1. 地域保健計画を軸として、その推進と評価を住民と共に進めながら、保健事業を展開しようとしているところ 2. 一途さ?(あだになつてるかも…?)
1. 地域密着型保健活動を目指してスタッフの志気高揚をわらった地区住民との会議や事業企画に力を入れており、慢性的人員不足にもかかわらず一丸となって仕事をしている第1線の保健センターとして評価して欲しいが、役所の中では、そのような扱いは受けない 2. 縦割り行政また細分化した事業にふりまわされ、事業の効果的運営を提案したいが受容される所が未熟(企画管理が一般事務職の異動で来た人でわからない)
1. 地域健康相談では、受診後の治療中断や不規則な服薬状況にならないよう、専門職として身体状況を確認しながら意識づける声かけや生活面への助言など住民自身が健康への意識を持ち、自己管理しているよう関わりを持っている。2. 乳児フォローアップ検診などでは、心理相談員や保健所保健師と連携し、多角的な面からケースを把握することができること。
1. 地区診断より地区組織活動をしていること
1. 地区組織、地区住民と連携・調整をはかりながら、地区活動を展開していること
1. 地区組織と連携をはかり住民サービスを実施していること。2. 住民の声を大切にしているところ。
1. 地区組織や住民の方の意見を聞き、次の事業に取り入れているところ 2. 同僚の意見を聞き、改善すべきところは改善し、良いところは取り入れる。チームとして仕事をするとこ
1. 地区組織をスムーズに運営し、問題を大きくせず処理しているところ 2. 同じ担当の職員と協力、連携し指導しているところ
1. 地区組織を通じて“人づくり”に置きをおいた健康づくりボランティアの方の養成モデル事業を終えた後もズツと、その人のかかわりがあり、広がり生まれる
1. 地区組織活動の支援
1. 地道に医療費についての啓発活動をし、1ケース、1ケースごとに少しでも健康につながるように、丁寧に訪問しているところ。
1. 中核市保健所で主として保健センター業務で事業の全体的な推進、調整及び所内研修会の実施(月/1回)や連絡を行なっている。2. 母子保健関係では、1才半健診、3才児健診のスタッフの配置や関係機関との連絡調整、市民のニーズに合ったような内容の検討を行なっている 3. 学生実習の受け入れや実施計画等、所内スタッフとの調整等 4. 保健、医療、福祉関係の表彰を担当し、候補者の推薦書類の作製
1. 町の総合施策(総合計画)に基づいて保健福祉計画を策定し、実行していること。また、この計画については、健康日本21、健康増進法、すこやか親子21、新障害者プラン、地域福祉計画、老人保健法など、国の指針や制度をふまえて先駆的な視点で取り組んでいること。2. 後輩の育成や、後輩たちが働きやすい環境整備につとめていること。3. 保健班にても、かなり福祉的な業務も担っているが、職場の周囲からは保健業務だけを行っているように思われている。福祉分野でも活動していることを評価してほしい。
1. 長い経験に基づいた対人関係(ケース、住民組織)のとおり方と連携の仕方 2. 数多い患者や乳幼児を見てきたことから正常か異常、支援が必要か否かを判断する力(PHNとしてのカン?)
1. 通所施設で定期的に援助しているので、日々の関わりや援助をおして、身体機能を維持している事、精神面でのフォロー、ねたきり予防で効果があること。2. 通所者が楽しみにして通ってきていて、施設の存在を利用者が直接評価していること。3. 通所者がなるべく介護保険に頼らず自立して生活できるように頑張っている意識。その意識が介保などや医療費、福祉に間接的に影響を及ぼしていると思われる。目にみえづらいところなので、なかなか評価対象になりにくいですが
1. 適切に職員が配置されているとしたら、住民ニーズを取り入れて、時代にマッチした事業の展開していけるのではないかと。という点。
1. 統計では表せない、事業の企画、運営についての大変さ
1. 統計資料や、事業の計画、実施、評価を行い事業の企画を行っているところ(毎年)

1. 統計的數字に表われないが訪問指導などの地道な活動で住民一人一人が少しずつ生活習慣の改善がなされていること 2. 住民の声を大事にしながら健康相談、健康教育の内容にとり入れていること
1. 特に思いつきません。
1. 特に相談・面談などの場面で、その場で解決できない事例などの場合でも、じっくりと住民の声を大切に、個別対応している点(数では、評価しにくい部分) 2. 住民の声から企画した事業(例)転倒予防事業など 3. 統計分析結果や住民の姿から計画・立案した事業
1. 日頃から公民館などに行き、情報収集や、役員さん地域住民と顔つなぎをするようにしていること。
1. 日常的な業務を適切に、円滑に実施すること 2. 実施したことをまともな考え方を関係機関に伝えるようにしている
1. 日々、困難ケース対応や危機介入ケース等等、苦勞しており、地域社会にとって重要な役割を果たしていること 2. 職種が増える中で、ケアマネジメント機能やネットワーク機能の必要性が高まり、保健師はその機能を有効に果たしていること
1. 日々の業務の評価効果や行政における保健師本来のあり方から事業体系を考えていること 2. (職場における)スタッフのエンパワメントを心掛けていること
1. 乳幼児から高齢者までの住民と関わり、関係機関と連携をとり住民の声を大切にしていること。
1. 妊娠中の人、赤ちゃん～高齢者にいたる、幅広い年齢層の人を対象にその人の抱えている健康問題にその度対処している。外からは見えない複雑な仕事も多々ある。2. 健診の結果や住民の健康に関する意識等、目には見えにくい実態を客観的に数字で表す努力をしているとともに、住民の生の声にも、耳を傾けるようにしている。
1. 年間計画や健康づくり計画に基づいた事業運営(当然のことだが少数職場ではかなり大変な事業量) 2. 専門性に基づいたマネージメント(上司が一般職ではなかなか理解してもらえない部分と思う)
1. 非常勤なので、業務としては、訪問、健診事業の保健指導が主である その中で専門職として指導に知識と経験を生かし、関係の第一歩をつくる努力をしている
1. 必ずしも数値や目に見えるものだけが結果でなく、潜在的な、または予防的な改善が行われているところ。2. 個人・団体、フォーマル、インフォーマル問わず関係を持ち、連携しており、住民の声に近いところで活動をしているところ。
1. 表面で見えない所で努力していること
1. 福祉で働く保健師として介護予防の視点を取り入れてきたこと 2. 地域型在宅介護支援センターが身近な相談窓口として機能を果たせるよう働きかけたこと
1. 福祉事務所で身障、知的、精神を担当しています。ケースの制度利用に関する調査・支援の中で、保健師として機能していること・事例を通して、制度上の問題、課題、施策的な提案をしていること・ケースとていねいな関わり、関係機関との関わりが、制度利用につながっていること
1. 物ごとを広い視野でみようと努めている事。またその情報を企画面に反映させようとしている事 2. 新しい情報を得それを周知すること 3. 向上心を失わない事 4. 事務処理のスピード
1. 保育園係担当が現在の職場なので一定の地域住民の方と接している環境であり、利用者(保護者)の声や自信関係、行動変容について 2. 園児に向けての保健活動を行った後の反応など
1. 保健、医療、福祉ネットワーク推進体制を順調に調整しているところ。2. 対応困難事例に要する支援内容と時間(事務職の上司に理解してほしい。)連絡調整の必要性。
1. 保健、公衆衛生の専門職として地域のニーズを正しく把握し、保健事業 効果的に企画・運営をしていくこと 2. 保健の知識を活用し、難病、結核、感染症などの技術的支援を専門的にできること 3. 医療、保健、福祉など関係分野の連携が柔軟にできること
1. 保健、福祉、制度の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画について提案していること。2. 地域にいる専門職の人々に情報提供をしたり、困難事例を通し、検討し、行政として取り決めることがないか、提案していること。3. 住民に対し、事例を通し、共に支えあう社会をつくってもらえるよう、働きかけていること。
1. 保健・医療・福祉の知識ケースワークの技術を活かし、電話や窓口での相談業務にあたることで、相談者の問題解決(心理面も含めて)につながっていること。2. 困難ケースについて調整、助言等することで問題解決につながっていくこと。
1. 保健・医療・福祉の分野から専門職として住民と関わり、そこから得た情報と制度の活用・あり方を基に事業の企画・運営など係業務を統括していること。2. 福祉・介護分野に予防の視点をもって連携・調整し、保健・医療・福祉のネットワークを構築していること。
1. 保健・福祉・医療の知識を生かした専門分野の視点を行政施策の中でもっと重要視してほしい
1. 保健の視点から、介護予防につながる事業運営を実施しているところ 2. 住民の相談に対して、広範囲の情報提供ができること 3. 住民の相談に対して、広範囲の関係機関との連携ができること
1. 保健医療の専門職として自分の配属先を肯定的にとらえられるように努力していること 2. 行政で行なえる範囲は限りがあるので、新たに住民参加型の活動を再確認し施策に反映していきたいと常日頃から考えている
1. 保健業務から利害に深く関わる業務に包括される様になって、その対応の仕方について、あくまでも生活支援、自立支援を見失わない 対応の仕方が、従来の教育に上のせて、訓練される必要がある(地域に出ないと、わからなくなることが多い)
1. 保健業務全体を把握しながら、市民のニーズを施策に結びつけるようにしていること
1. 保健師が専門職であること。2. 目には見えづらいが長い目で見て予防活動には意味があること。3. また、保健師は困っている人がいればすぐにかけることができその人のために動けること。4. 家庭訪問や健康教育を通じて知識を伝達して住民の健康維持、増進に役立っていること。
1. 保健師であると同時に行政職として予算のことや法律のこともべんきょうしようと努力しているところ。2. 健康教室等、こられた方と全員必ずあいさつなり、言葉をかわし、情報をえようと努力しているところ。
1. 保健師という専門職として介護保険に携わっていること。
1. 保健師として、個人の最も良い方法を、その場、その場で、判断し、実施しているところ。2. 計画的に実務をこなしている
1. 保健師として、個別ケースや地域にアプローチしてきた経験を生かし、現在の部署で地域全体を見渡すように努め、地域、団体、機関、グループ等をつなぐ役割をし、ネットワークづくりに力をそいでいること。
1. 保健師としての専門職としての評価は得られているものの、市職員(行政)としての評価が、同じ市職員間でされていないように感じる時があること。
1. 保健師としての専門職としての評価は得られているものの、市職員(行政)としての評価が、同じ市職員間でされていないように感じる時があること。
1. 保健師としての専門職は、市全体の業務からは、あたり前のこととし、地域住民へ前面矢表に出る大変さの苦勞が認めてもらえにくい、保健師として就職したのだから当然との、とらえ方がある。2. 常に業務評価をし、新規事業等の立ち上げに苦慮する点、又、評価判定の難しさ
1. 保健師としての専門性
1. 保健師としての専門性を発揮しながらも、常に地方公務員(行政職員)としての意識をもち、動いている(予算・財政や事務も行う)こと。2. コミュニケーション能力(対住民への情報の提供や情報収集量など)
1. 保健師としての知識や経験をもとに地域住民との関わり方のノウハウを生かし、地域保健づくり事業を充実、拡大していること。
1. 保健師としての知識を生かし、職種のちがいを越えて、住民個々のニーズに対応すべくケアマネジメントしていること。2. 住民の声を、上司に伝え、ないサービスを生みだすことができるよう関係者に調整を依頼するなど働きかけていること。3. 住民からの相談があった時、迅速に対応し、自分の持つネットワーク(人間関係)を駆使してニーズに対応するようプランニングし、サービス提供に努めていること。
1. 保健師として住民と関わり、そこから得た情報(地区診断)を企画の中に生かしていること 2. 事例困難ケースの他機関との連携により、きめ細かに解決対応していること
1. 保健師として調査員(介護保険)を育成しているところや困難事例でのケアマネサポート的な訪問をしているところ
1. 保健師の活動が、幅広い市民の声、とりわけ本人や家族の健康が障害されている人々の暮らしに沿っていること。2. 保健師の活動が、1. のために費用対効果の指標では評価が難しいこと。
1. 保健師の経験を生かせる職場に、初代として異動し高齢者とふれあひながら、自立期間を伸長させようとしているところ。2. 技術職であるが係長として事務をこなし、専門職たらんと努力しているところ。
1. 保健師の仕事はチームワークである事を大切にしている。 2. 市民の声を大切にしている。
1. 保健師の視点での企画を重視してほしい、明らかに事務職員とは違う 2. 他機関との連携を大切にしている
1. 保健師の新規配属部署で業務の立ち上げに努力していること(保健師教育研修の企画運営等) 2. 課や係を超えて保健活動上の連絡調整に走りまわっていること(業務をスムーズに実施するために)
1. 保健師の専門性、他職種では代われないという評価 2. 技術職として、予算や政策も考え検討している部分、区民の痛みや現状を政策に反映しようと努力している所 3. 山積の課題から逃げずに取り組んでいる所
1. 保健師の専門性を生かして、保健事業を企画運営しているところ 2. 住民の声や、関係機関との連携を大切にしているところ
1. 保健師は予防活動(健康づくりにおける)の専門家であり、介護・福祉の分野と一緒に評価するのをやめてほしい

1. 保健師及び精神保健福祉士という専門職としての住民との関わり方(援助技術)。2. 市役所全体として市民のためにどうしたら良いかを考慮し、担当業務を行っているところ。(担当業務と市業務全体とのバランスを考えているところ)
1. 保健師業務の全般に理解されたい。住民の健康づくり活動を評価されたい。
1. 保健事業の企画・調整・実践が専門職としてできること 2. 人材の育成についての能力
1. 保健福祉の視点から、予防活動を含めて、地域のネットワーク作りをしていること。2. 地域のニーズを把握し、必要なサービスを提供できるよう社会資源の開発をする。
1. 保健福祉事業の評価をし、次年度以降に向けて企画・見直し等を行っているところ 2. 福祉サービス利用者の公平性を考えて仕事をしているところ
1. 保健予防の知識を生かした専門職として住民と関わり、住民にどのくらい役に立っているか。
1. 訪問・保健事業等において、住民に対し、ていねいに分かりやすい様に接し対応していること。
1. 訪問を大切にしていること。
1. 訪問看護を担当しているが、医療の進歩に伴う新しい機種や技術についていくが大変で自己研鑽を積んでいるところを評価して欲しい。2. 訪問看護の管理者を保健師の視点で行っていること。
1. 毎日住民の声をきくなかで今何が望まれているのか、とらえるように努めていること 2. またそれらをまとめて、事業に活かしていること
1. 毎年、減られる予算で何とか定例業務の量、質を確保し実施していること 2. 少数のスタッフで市レベルの業務を展開していること 3. 地域の健康問題である肝疾患対策に長年取り組んでいること 4. 看護・医療・保健の知識に加えて、ケアマネージャーとしての知識を生かして、業務にあたっていること
1. 未経験の仕事を手あたりで、一人でやってきたこと
1. 問題、課題の発見、解決に向けた対応策の検討、実践、評価と一連の流れの中で事業展開していること 2. スタッフのリーダーとしてその役割を果たしていること
1. 問題解決のため(住民からの相談)各関係機関との連絡をとりながら解決していること。(大変苦労していること)
1. 問題点だけでなく、ニーズをほり下げられること 2. 生活に密着した事業を展開できる企画力(法にもとづく金太郎あめ事業ではないということ)
1. 予防活動(地区、地域に応じた)を実施していること 2. 看護や医療の知識を生かし専門職として事業を企画・運営をしていること
1. 予防活動を行っていないため評価できる活動場所に適切な人員配置を希望したいです
1. 様々なケースに対応してきた事を経験に生かし活動していること(訪問指導等) 2. 利用者の立場を考えたながら事業の見直しをしている事 3. 仕事の経過等をまとめ、次の担当が参考にしやすい様に資料をまとめていること
1. 様々な関係機関、職種と連携し、業務が円滑に遂行していること 2. 住民、関係機関からの相談にも(すぐに解決しない問題でも)積極的にかかわり、担当者、関係者と協議をつみ重ねる等で、解決に向け取り組んでいる 3. 少ない人員体制でも住民にしか寄せが来ないよう、工夫し、自ら業務を実施するなど住民サービスを第一に考えていること
1. 様々な所から得た知識を基に、保健師として、住民に情報提供、助言を丁寧に実践していること。2. 過去の方法にこだわらず、住民の求めていることは何か、公衆衛生の向上に役立つ方法は、何かを常に考え、公的機関としてできることを考えて仕事をしていること。
1. 要介護高齢者等のニーズを把握し、必要なサービスの調整や、自立支援に向けたソーシャルワーク業務。2. 相談者の声に耳を傾け、個人のQOLを高めていくために関係機関と連携し、よりよい方向性を見い出していくこと。
1. 利用者に対するサービスにおける関係機関との連携をふまえたネットワーク・連絡会の運営の実施 2. 福祉サービスの提供に関して C. W. 不在による、業務の代行 3. 職員のスキル・アップのための研修の企画
1. 利用者等とのかかわり(相談面接等) 2. 他職種との連携
1. 理論に基づいて仕事をしており、それは住民にとって、必要だということ。
1. 量的なデータの変化が得られにくい、質的な変化
1. 臨床での経験があること、その現場での知識と技術があること(現場経験で学んだことを参考に仕事をすることが多い) 2. 対象者の思いにすぐ共感できること
10年、20年後をみながら健康づくりをすすめていること
10年ほど前は、ねたきりの方などの訪問や、入浴サービス、褥瘡処置など、目に見えるサービスをして対象者の方に喜ばれることで自分なりに評価していた部分があったし、訪問件数としてもあがり周囲にも評価してもらっていたと思う。しかし最近の業務の中では、財政難もあり新しい事業は全く目新しいことはできない中で地道に住民の方との関わりを大切にしていることかナ?と思う。
10年後を考えて今必要なかかわりをしている。地域住民が少しずつ変化していく様を。又、10年後後どのように変化しているのかを評価してほしい。私達の仕事は明日、今に結果がみえるものではないから。1人1人がその人らしく生きられるような支援にはマニュアルも正解もなく基本的なベースをもとに1人1人に対し地域に対しアドリブが必要だと思うから。
13人の係員の意見や助言を求められたことに、即対応したり、共に考え係員の納得が得られるよう努めていること。係員の意見を尊重し、又ひとりひとりの個性や能力に応じた業務を担当して、業務が発展するよう心掛けていること。
1つ1つのケースについて必要な関係機関との調整をしながら対応している。
1つ1つのケースに対しての支援
1つ1つのケースへの自分の対応の仕方について狭い視野ではあると思いますが、今はそれが精一杯です
1つ1つの関わりを大切にしているところ
1つ1つの仕事を大事にとりこんでいるところ
1つ1つの事業が準備から始まり無事終了していく事
1つ1つの事業やそこでの住民との関わり(自分なりに自分のできる範囲でやっているところ)
1つ1つの事例からまだまだ学ぶ段階であり、今の所しっかりと仕事をこなしていくのが目標です。
1つのケースの相談を受けると、他課のサービスの手続き等もあり、かなり時間を費やすことがあります。数値的な評価としてあがりませんが現場で相談を担当している保健師の評価もして欲しいなと思います
1つの事業をやる上で我々の思いと住民との思いが近づきより活発な事業ができた時。
1回限りの調査で、今後継続して関わることがないので調査時に介護予防や他機関との連携方法について住民に伝え、地域の資源について周知を行っていること。(保健師の役割や在宅介護支援センターの機能について)
1人1人のかかわりを、ていねいに専門職として、きめ細かな支援をすること
1人1人のケースとかかわるときにアセスメントを大切にしていること
1人1人のケースを大切にしているところ
1人1人の住民との出会いを大切に、ていねいに相談にのり、その方が相談して良かったと思ってもらえる点。
1人1人の住民と向きあい、信頼関係を築きながら仕事をしていること。
1人1人の住民にできるかぎりていねいに対応していること 又、地域やケースより、事業の運営等をできる範囲でよりニーズにあったものにしようとしているところ
1人1人の住民のニーズにそった対応を心がけている

1人1人の住民の声やニーズを十分傾聴し、関わる姿勢。
1人1人の住民を大切にし、丁寧に関わっているところ。
1人1人の住民を大切にしていること。
1人1人の変化等、一気に統計上には現れない成果もある。
1人でも、生き生きと、心も体も健康でいることができるように、はたらきかけていること。
1人で市立幼稚園、小学校、中学校の学校保健全てを担っていること
1人の住民と丁寧に接しているところ。
1人の住民に対応する際、その患者さんのみならず、他の方々の対応も(波及効果)考えつつ行動している点
1人の人の(町民の)声でも、大切にしなければならぬ仕事であり、そのようなかわりをしていくこと(ところ)。
1人の人の為に一生懸命に相談にのり、その人の幸せを願って努力している事を評価に入れてほしい
1人ひとりを大切にじっくり介護相談にのっていること。
1度経験したことをどう次にいかしているか
1年目なので、なかなか評価してもらえる状態ではないと思う。仕事をなんとか、こなすだけで精一杯です。
2の統計処理および、住民の声を大切にしていること
2年目になり人員の少ない中で業務をなんとか一人前にこなしていること。
35年6ヶ月保健業務のみであった事から、福祉の制度の知識が無く非常に悩んでいる。又、周囲が事務職員のみであり、業務については先輩でもあることから、指導内容についての文句も入り、仕事はやりずらい面が多いにある。
3つの担当が、各々頑張ってくれている、そのとりまとめの点
4月より医療機関の相談業務を担当したが臨床中でのPHN業務の位置づけと専門性をどのようにつくりあげてゆくか悩んでいる。自由に仕事はできるが業務の量の多さとスピードを要求され、本来のPHN業務を考えるゆりやがつかない充実しているが、流されている感が強い。その中でもPHNならではの対応の実績をまとめて評価してほしい
DA
dateの改善を評価してほしい
ex)事業に対し、結果のみでの評価ではなく計画段階からの過程をみたと、対住民にとってどうなのか等評価してほしい(経年的評価、住民の声なりニーズ把握から企画運営しているかなど)
HVはじめ、件数を求められることが多いが、質のほうも評価してもらえるとよいと思う。ただ、質を評価すること自体、むずかしいと思うが。
massをみる視点があること、体系だった物の考え方ができること
n. A.
PHNが1人という係の中で、公衆衛生の視点を持ち続けようとしているところ
PHNが行っている業務で行政としてどこに重点を置いてすすめていくのかをまず示して欲しい。その上で、集団を対象として実施している点、机上だけでなく、訪問している点などを評価してほしい。
PHNとして、住民の声に耳を傾け、1人1人の個への対応を大切にしていきたいと思っているところや困難事例等にも時間をかけながら責任をもって対応の継続をしてつなげていっている部分は目に見えず、数値にも表われないため評価してもらえない。
PHNとしての専門技能を生かし、住民や町の問題点をみつけ指導や事業の立案に役立っていること、統計処理等ではPCの技術も生かしわかりやすい資料を作成していること
PHNの業務が、健康づくりに大切なことをデータで上司に報告していること 看護職の人間関係等の調整を細やかに実施していること
PHNの仕事は、目には見えにくいですが、そういった点を評価してほしい
PHNの職を生かし、ケアマネジャーとして又在宅介護支援センターの相談員として指導やサービス調整を行っているところ
PHN単独で動くのではなく 他職種と連携して個にアプローチすること。
PTへの支援
QOLを主とした上で、全体のバランスを見ながら援助していること。
あいさつと笑顔を心がけて対応している。
あきらかな良い結果を得られないケースへの関わり。
あたりまえなのだが、市民のためにはどうしたら良いのかという視点を持っていること。要領が悪く時間はかかるのだが、他の人がみてもわかるように記録を残しておくこと。
あまり、専門職としての意見を信用されていないので…。保健師としての知識等を生かした専門職として、住民と関わっている。根拠があつての対応をしているところ。
あまりにも広い範囲の事をあれもこれも毎日一生懸命こなしているその頑張りを評価して欲しい。事業の企画から運営、また評価までをしているつもりである。
あまりはっきりした結果がすぐみえなくても、いろんな情報提供や指導をしているところ。
あまり考えたことがない
あまり考えたことがないが、専門職としての企画、運営をしていること。
あまり考えたことがないので良く分からない。強いて言えば虐待対策などで福祉事務所など様々な職種の人とかかわることが多い中で、保健師として予防的にかかわるという視点などを大切にしたいと考えています。
あまり考えたことない
あまり考えたことはない
あまり思いつかない
あらためて考えてみると、仕事に対して、評価して欲しいと思うところが見つからず反省です。いかに、毎日の仕事に流されているかと考えさせられました。
あらゆるライフサイクルにたずさわった看護、医療を生かした専門職であること
あらゆる情報収集をして、事業の計画をすること

ありとあらゆる情報があふれている中で、自分に必要な情報を自分で選択できるような力をつけてもらえるよう支援しているところ、アンケート等から得た住民の声を目で見える形にして、できるだけ反映させるよう努めているところ
ありのまま
ありのままに評価してもらえれば、ありがたいです。
ありません わかりません すみません
ある程度の事務能力もあり、事業をそれなりにこなせること
アンケート結果や参加者の声を取り入れ、事業に生かすようにしていること。
いかに地域に出ているか(地域より依頼がくるか)
いけないことだと思いますが、考えたことがないです
いっしょうけんめい取り組んでいるところ
いつでも困った時に気軽に相談ができ、かつ、住民一人ひとりが自身で解決できるように支援する姿勢をもっていること
いつも気軽に、誰からも相談に乗っている。
いつも仕事に全力投球している事
いつも住民サイドで物事をとらえようとしていること
いつも笑顔で対応していること。
いろいろな住民の方と関わり、一つ一つの出会い、住民の声を聞き、それを大切にしていること。
いろいろな分野に入っていける職種であり、そこから住民の健康問題の把握や情報収集ができること。
いろいろな分野に目を向け、必要な限り参加し、それぞれの機関なり職種から信頼される人になろうと努力していること。
いわれたことをまじめにコツコツ取り組む姿勢
うまく書けませんが、自分としては、できるだけ、住民の声に耳をかたむけ、住民の思いを大切にしながら、データも重視して、必要な事業を実施しているつもりです。
おろされてくる事業や業務が多く、まずそれを優先して実施 ケース(個々)や地区組織活動に別ワクにしっかりと取り組む、ということは、一定の業務の処理能力と経験とパワーが必要と思われる積み重ねとも思うが。
お客様と同じ視線をもつこと
お金や数字では結果が出ない仕事であるということ。個の関わりを大切にしているところ。
お母さんやご家族の思いを大切にしているということ。
かかわった住民の変化
かかわることで、対象者(個別にしろグループにしろ)が、前向きな生き方考え方にかかわった時に評価してほしい。
かなり市民の立場を考えて、仕事をすすめている点 少ない情報から、様々なことを、考え深めている点
かなり事務処理業務をやっていること(事務職で処理可能な業務)
かなり負担のある仕事をしていること
がんばっているところ
きづくことを一システム化すること
きびしい社会情勢の中、職場が少しでも快適で(仕事のしやすい)健康職場になれるよう予算を使わず、工夫、努力していること
ケアマネジャーとして、勤務しているが、介護保険制度は契約によって成り立つが、契約行為そのものが困難な人家族に介護サービスを利用するまでの働きかけ、援助にかかわる労力が大変。しかしサービス利用に結びつけなければ保険給付の対象にもならず、担当人数にもならず、評価の対象になっていない。
ケアマネジャーとしての利用者との関わり、信頼関係を築くために時間をかけて関わっていること。利用者の自立支援と介護者の介護負担の軽減のため、情報を提供し関係機関との連携を密にしていること。
ケアマネの質の向上のため、協議会への支援全般。ケアプラン指導を通して、ケアマネジャーの支援を行っていること
ケース(弱者etc)にPHNが支援したことにより、ケースの生活改善やストレスが解消されたこと。
ケース(住民)の声を大切にしたり関わり所内事業や講座とリンクさせた地区活動
ケース1つ1つに丁寧に、そのノウハウを地域全体(集団)に活かさないかと試行錯誤している点
ケースがかかえる問題に対して問題解決のための連携を作ること
ケースからの相談に対して、知識・体験を生かし、専門職として、助言をしたり、悩みを受け止めたりし、解決すべく問題があれば、一緒に考える姿勢で対応している
ケースとの関わりを大事にしている所。
ケースと関わることの大変さ、家庭訪問の大切さについて他職種に理解・評価してもらいたいと思う。
ケースと関わる際、相手の気持ちを大切にしている
ケースにしっかりとむき合う姿勢、個別支援のたいせつさ
ケースについて他職種や他機関と連携しながら関わっていこうと思っているところ
ケースにより、ターミナルのケアを望まれたり、ケースワーカーの役割を望まれたりする。専門職というより本人の技量ととられ息いので、専門職として中広い活動をしていることを理解して欲しい
ケースに出現した一時の問題だけを見るのではなく、解決に近づくまで、本人の気持ちに寄り添って、考えようとするところ。
ケースに対して、諸職種との連絡を取り合い、それぞれの立場で、できることを話し合いながら解決へつなげていっている。
ケースに対して丁寧に接しているところ。面接や保健指導では相手が何を望んでいるのか、またセルフケアできるように支援している。
ケースのために時間をとって対応しているところ。そのために事務処理等後回しになり、残業になっても仕方のないことであり、窓口、電話対応等での勤務時間内の忙しさを評価してほしい。
ケースの気持ちによりそい援助していること

ケースの思いや、ニーズを大切に、関わる姿勢
ケースの思いを大切に考えようとしていること
ケースの声に耳を傾けていること。
ケースの積み重ね、その人にとってどうかを考えて次の展開につないでいく仕事。
ケースの訴えを聞いている時間とその記録量
ケースフォローは、どれも同じ対応ではないため個々のケースに合った対応ができた時(担当PHNがケースをどう判断し、どう対応していったのか評価して欲しい)
ケースへのかかわりを積極的にしていること 担当業務の評価をしていること
ケースへの関わり
ケースへの関わり
ケースへの継続した関わり 住民の声を繋げた企画立案
ケースマネジメントにより、ケアマネの負担(心理的)を軽減していること
ケースや、地域のだれからの意見にも耳をかたむけ、大切にしていこうとするところ。
ケースや地域組織との関係作り
ケースワーク
ケースワークなど、結果が目に見えにくい仕事で専門職として情報をいかしながら、ケースにとって、よりよい方向性を検討し支援している点
ケースワークのむつかしさ
ケースワークは、訪問・面接はもちろん、事前準備(勉強)、関係機関との連絡、調整、記録等 多くの時間を費すものであることを、もっと理解してほしい。
ケースワークは経験等より、時間も対象者の負担も少なくその時に適切な判断ができるようになってきたので、系のバランスを考えて役割を担っているところ
ケースワークを大切にしている。
ケースワーク業務が主なのでケースワークの内容、ケースの変化をみて評価してほしい
ケースを見る視点から地域の問題を発見しようとしている所
ケースを個としてでなく、その家族全体を含めて対応にあたっており、その問題も母子～成人・老人～福祉(障害、保育、1人親etc)など多岐にわたっていること。縦割社会の中で、住民が一番スムーズに、困らないよう連携に配慮していること。
ケースを支援する場合、ケースのニーズに合った支援、関係職種との連携をとりながら行っている。行政サービスの向上のために意見、提案を市の内部の会議で行っている
ケースを対個人という見方のみでなく、家族、地域という視点で考えていける事、住民の声を大切にしているところ
ケースを大切に、そこから得た情報と地域の問題点とを照らし合わせていること
ケース支援や事業でも準備から終了、安定するまでに、多くの時間や配慮が必要であること(関係機関との連携も含めて)
ケース主体にして、他職種との連携をしていく
ケース対応 ケースマネジメント 地域づくり 組織の育成
げき的に変わるとか、お金を渡せる等の仕事ではなく、むしろ潜在的な、目立たない何をしているのだろうかという仕事にみえるけれど、企画、立案から考えて行っているという事
コーディネイト機能
コーディネートの専門職として住民を中心にいろいろな人をむすびつけていること、その中から政策をみちびき出すこと
コーディネートの部分
コーディネイト機能
こちらが主体的に行う事業以外にも住民主体となり地域で健康感を高めるためいくつかできてゆくグループと連携できたときなど。
こちらの自己満足にならないよう、対象者の思いを尊重し、考えをめぐらせていること。
こと無かれ主義ではなく問題点をとらえ企画・運営し進行管理を行う点
こなした件数の多い、少ないでの評価ではなく、一件一件の対応内容についての評価。
この業務にかかわって1年たっていないので、自分でも判断できません。
この仕事が好きなところ
この質問も一評価は他人がするものであり自分で要求するものではないと思います。自己評価であれば地域や住民などの情報より、ニーズを適切にとらえ、目的に応じた処理をしている。また、随時、変化に対応したじんそくな処理をしている。
こまめな住民への対応
これからの時代を担う乳幼児や学童、生徒などに対しての働きかけを連携機関と連絡をとり、実践している。成人になってからの働きかけでは何事に対してもおそすぎる。
これからはお金のない中で保健事業を効率よく展開しなければならず、発想と企画力がとわれる時代と思う また、糖尿病や心臓病はたぶん予測できないほど増えて医療費の圧迫がさらにすすんで支えきれなくなると思う 予防事業を考えると、個人のデータを見て10年20年後が予測できる仕事をしていきたいと思い、5～6年前から学習をつみ重ねている、実際に健診事後の説明では、本人とじっくりと体の中で起こっていることや今後、予測される体の変化について、細かくじっくりと学習をくり返している かなりここには時間をかけている 住民の方の意識も少しずつ変化してきているように思われ保健師としての役割がようやく少しだけはたせたような気持ちでいる この活動の大切さを他の保健師にも(他の町の保健師も含む)わかってもらいたい
これといったものが見あたらない
これまでの専門職としての関わりを基盤とした事業の継続
これまで得てきた資格、経験を活かした人事配置がされてなく、自分のやりたい仕事とかけはなれており、バーンアウトしそうになる
サービスの質を考え、事業の企画をしているところ
サービスの受け手である住民や仕事そのものに対して誠実な態度で臨んでいるところ
サービスメニューの効果と効率を地域の声を聴き、地域に合ったものにしていこうとしていること

サービスや制度のあてはめて問題処理を行っていない 本人家族をとりまく状況をふまえて多角的に問題をとらえ十分アセスメントを行いながら根本的な問題解決に取り組んでいる
さいたま市は、平成15年4月1日に政令指定都市に移行し市内に9つの区役所が設置され9つの保健センターが開設された。特に拠点保健センターの考え方がないため、9つの保健センターの調整役として動くことが多く、事業計画、予算の他統一した見解が必要な事項等情報の共有化に努めている
さまざまな分野から情報を得て、総合的にニーズを把握し、必要な事業を立ち上げようとしていること、地域に力点を置いていること
じっくり事例に取り組んでいるところ
じみちなところ
スーパーバイザーとしての役割
すき間産業的な、どの部署も担当し得ないような内容の業務が突然に発生することがある。そのような業務は負担感は大きいが実績としてはあらわれにくい
すぐには結果のみえない業務を一つ一つやっていること。
すぐに結果としてあらわれないものもあるが、相談等で個別に時間をかけて、住民と対応していること
すぐに結果としてでなくても、将来的なことも視野に入れ企画・運営をしていること。
すぐに結果にはつながりにくい訪問などの活動
すぐに結果のでる仕事ではなく、又評価もしにくい仕事が多い中、数字にあげにくい点や費用対効果がだしにくい面を評価して欲しい(たとえば住民の声や、具体的なかかわりでいけば訪問相談など)
すぐに結果は出ないけど、なくなると大変になるであろう仕事をしているところ
すぐに結果は出なくても、個々のケースへの関わりを基本とした地道な活動(数字では見えない部分にも評価してもらえたら…と思います)
すぐに結果をだすことは難しいが、地道に努力すれば必ず良い結果をだせること
すぐに大きく流れがかわらなくても、個々の住民の声を大切にして活動していること 数に表現しにくい内容の活動であり量ではなく質の部分を大切にしていること
スタッフとの連携を大切にしていること。
スタッフと協力して行っている研究活動について、一定の評価をして欲しい。
スタッフや関係者のよいところややる気を大事にして連携して課題に取り組んでいるところ
スタッフや住民、関係者などとの目に見えづらい連携、調整機能
スタッフや住民の意見をとり入れながら業務をすすめていること
スタッフ間の調整をきちんとおこなっている点
スタッフ及び関係職種間の調整業務
すべて
すべて
すべてに関して、結果のみではなくプロセスを評価してほしい
すみません、評価に値するところが思い浮かびません。
すみません考えて書く時間がありません
セルフケアが基本となる職員の健康管理を担当しているので、数値や形として業務の結果が認められにくい。又、同じ職員として、対象である職員をケースとして扱うので、住民を対象とする部署と、ストレスの内容が違うということ。保健師としての気持ちの割り切り方。その業務について直接タッチしていない人が、すぐにあらわれる結果のみを求めていることが多くあるように感じています。そうではなく、長い目と、それにかかわった相手(個の場合、多数の場合があります)のセルフケア度や幸福感をみてほしいと思っています。
その子だけを見るのではなく、家族やその子をとりまく環境についても見て、全体を把握しようとしていること。
ソフト事業なので、短期間で数値に現わすことができない所をわかってもらいたい。
ソフト面で、子育て支援に力を入れてきた 保健、福祉、教育、医療部門での虐待防止のネットワークに力を入れてきた。連携を深めてきた、又地域活動に力を入れてきた 現在は幅が広く一次予防は検討中である
ソフト面の目に見えにくい、対人サービスについて。
そもそも、何をしているのかということを確認してほしい その上でその人入りの評価をして下されば また資格があるからできるという以外に、感情、卒後勉強の必要なことについて、自分ももっと学習してからですが…。
そもそも保健事業が必要であるという視点で評価して欲しい。(職場が福祉の視点を中心としている) 細かな規制がないからこそ必要と感じられる事業をつくり上げることが可能。システムづくりをしていること。
それぞれの事業に対して、昨年と同様という考えではなく、評価し、改善を加えていくこと
それぞれの立場で業務をしているので、私はここを評価してほしいと思えるところは、とくにない。(力不足のため)(保健師として、経験が浅いため、得意分野がないところもあって…) (ただいいたいのは、保健師の能力は、県、市でかなり差があり、県の保健師の活動責任の自覚が年々うすれており特に経験の浅い(〜10年程度ですが)保健師についてはあきれるほどである。立場だけを主張し仕事をしたいといってしまうほどである。適切な助言指導のできる立場のみあった保健師に指導してもらいたい。)
たくさんさんの訪問をし、住民の声を聞いているところ
ただ訪問しているのではなくPHNとしての自覚を持って住民と接していること
たとえ少数の人であっても「その事業があっよかった」という声が具体的に上がっていること 住民からの声を具体的な形として取り組みの中に常にとり入れていること
だれに対してなのか不明なため、回答しません
チームでも、他職種の中に1人でも仕事を行えるところ
チームで行う仕事が多いため、スタッフに声かけをし、スムーズに仕事ができるように努力している
チームワークを大切にし、お互いが働きやすく、仕事の効率がよくような気配りをしていること
データとしては、なかなか見えない保健活動だが、日々の活動で努力していること。
データや住民の声を基に事業を企画、評価しようとしているところ 業務内容を整理し、効率的に業務推進を図ろうとしているところ
データ上ではわからない住民との関わりやその声を活かすよう事業を企画・運営していること
できあがったもの

できるだけ、常に前向きに、昨年とまったく同じ業務内容ではなく少しずつ工夫し改善していどんでいる部分
できるだけ、地域に出て、直接住民と関わりをもち、そこから得た情報を基に保健事業を計画し実施していること。
できるだけ、地域を訪問し、又、他職種と同行しながらおこなうことで、よりよいサービスが利用できるよなればと思う。
できるだけ準備を整えて仕事に望むこと(あたり前ですが)準備8割を大切にしています
できるだけ個別の事例に合わせた対応を地道に続けようと思っている。
できるだけ広い視野のもとに業務を考えようとしていること
できるだけ住民さんの声を聞いているところ
できるだけ住民と(横並び)向きあう姿勢を大切にしたいと思う。
できるだけ住民と一緒に考えてすめようとしていること
できるだけ住民と接して生の情報を得ようとしていること
できるだけ住民の声を傾聴しようとしていること。
できるだけ住民の方と信頼関係が築けるように心がけていること。
できるだけ住民の立場に立って考えること
できるだけ住民の話聴きよき理解者になろうと努力している点
できるだけ対象者の声を聞こうとしていること。
できるだけ地域に出て、住民と接する機会を多く持つようになっていること。
できるだけ地域へ出かけ、住民の声を聞くこと
できる限り市民の名前、顔、家族事情などを覚え、折にふれ声をかけフォローを行っていること
できる限り住民の考えや声に合った事業の内容にしていこうとしていること。
できる限り住民参加型の事業にしていること。
できる範囲で頑張っているところ
デスクワークよりも、対住民サービスを優先した業務を行っているところ
どうすれば住民にとって利用しやすいサービス(有益なサービス)を提供できるか考えているところ
トータルコーディネーターとしての役割
どこというのではなく、全体として評価してほしい
どの行政区でも同様かと思いますが人員不足の中で、業務をこなしていくこと 年々、業務量が増えるが全く理解してもらえないこと 保健師は、何でもやらなければならないこと(事務等も含む)
どちらかというと、声にだせない市民の声を代弁し、活動していること。
どちらかといえばスペシャリストとしての役割よりもゼネラリストとしての役割を期待され、又担える事
トップダウンで行う仕事だけでなく、現場で得られた実情・実態に基づく計画(企画)を提案し、実践・実行できていること、(手間のかかることがイヤがられる風潮)、様々な関係者に理解、協力をもらって推進していることについて一このことを理解できる上司に限られること、保健師を上手に動かせられる上司「リード」できるということ、が少ないこともある。
とにかく業務を覚えようと努力しているところ。
とにかく住民が元気に毎日過ごせるように、事業(健康相談や健診など)をしていること。
どのようなところを評価してほしいか、考えたことは今まであまりありません。ただ、保健師の仕事をもっと知ってほしいという気持ちはあります。(他職種の人に)なかなか説明しても分かりにくい職種だと思うので。
どのような事業内容であれ、専門職の行う事業だからといって、(スムーズに)企画が通り、評価もあいまいなままゆるされているように思うことがある。行政職員としての視点をもって事業評価をしてほしい。いっけん優遇されているようにも思えるが、業務の評価は一緒に行ってもらえないのに、客観的評価をしながら事業も同時進行というところをされている状況はどうか…
どのようにすれば、住民にとってより良いサービスが提供できるか、工夫しながら事業の企画・実施をしていること。
どの業務を行っている時でも“予防”と“それぞれの責任”を考えて取り組んでいること
どの業務を誰がどのくらいどの部分をどう進めているかを上司は把握してほしい
どの事業をやる時も常にヘルスプロモーションに基づき、住民全体の健康を考え実施していること。
とりたてて上げるほどの自信はもてず…
どれだけ住民の声を大切にしているか
どれだけ地域のニーズをすいあげそれに応じた対応が出来ているか
どれも中途半端で、評価される仕事はない
どんなに天気が悪い日でも外に出て一軒一軒訪問して様子を見に行ったり調査をし続けていること。
どんなに忙しい時でも、看護職として質の高いサービスを提供しようとして努力していること
どんな仕事でも、自分なりに相談をしながらこなしていること、また、地域の方の協力を得ながら、個人に合わせて対応していること
どんな仕事でも一生懸命に取り組んでいるところ
どんな仕事にも積極的に取り組むところ
どんな事をする時にも常に全力投球で挑む事。
ながい保健師活動の中で、評価される、活動にいたっているとは、考えていない 保健師活動は評価がでにくいという言葉の影に今だいると感じている。住民の健康がアップされるよう、活動をしているが、どう住民に伝えていけるのかあえていっている。

なかなか、自分達がやっていることの効果が形として表れにくい、1つ1つのケースへのとりくみや、相手のことを出来るだけ考えながら、ていねいに対応しているところ
なかなか記入しにくいので控えさせていただきます。
なかなか結果を数量で評価するのが難しく、地味な仕事と思うが、住民のQOLの向上のためには、きめ細かいサービスが不可欠である。地区組織との連携や日常の対人サービスを通して住民の主体的な健康づくりの実現を支援している点を評価してほしい。この地域に住んで幸福である、というふうに住民の方に感じていただくために、ソフト面でアプローチできる内容の業務だと思う。
なかなか思いつきませんが、あえていうなら、窓口業務が多い中で、障害者の方へのサービス紹介に、特に力をいれている点。
なかなか出来ないけれど住民の現状をふまえた、活動をしていこうとする視点をもってのことについて
なかなか数字では表現できない内容的な事
なかなか地域全体としての大きな結果は出せなくても、1人1人の関わりを大切に活動しているところ
なかなか目に見えて効果が見える事業ばかりではないが、住民の健康増進につながっていることを、長い目でみてほしい。
なにことも、準備と片づけに時間がさかれること
なるべく、自分の担当地区の住民との関わりを持ち、住民から目に見える保健師をめざし、積極的に地域へ出て行っていること。
なるべく、住民のありのままの生活や様子、気持ちを尊重し、その中で住民が求めているニーズにそって対応していること。
なるべく、住民の目標で、その人のニーズに沿った企画・運営に努めていること
なるべく仕事の手順のもれ、忘れをしないようにしていること。
なるべく仕事は残さないようにして、いるところ。住民の立場に立った、物事の考え方をしようと努力しているところ。(もちろん専門職としての視点をもって)
なるべく住民との関わりを大切にしているところ。
なるべく住民の身になって業務を考えるようにしていること。
なんとか期限内に仕事をしている事
ニーズの多様性にかたえるべく、様々な業務を実施していること。住民に公平にかかわりつつ、必要な支援を行うように心がけていること
ニーズをよく把握しようとしているところ
ネットワーク、システムづくり
ネットワークを大切に業務を行っているところ
ねまわし等連携を上手にできる様努力している点
はっきりと目にはみえないが、生活習慣の改善によって病気の罹患を阻止するのに貢献しているところ。
バランス良く、仕事をしようと努力しているつもりのところ、分らないことがあったら、きちんと調べながら、仕事をすすめようと努力しているつもりのところ
ひたむきに仕事をしている。
ひとつの事業をするうえで十分な連絡調整をしながらすすめていること
ひとつの事業を行っていく上で様々な観点(角度)、また理論的な情報収集など、裏づけを伴いながら展開していること。(部分的ではないこと)
ひとつの事業を実施するための情報収集、調整、企画、準備に多くの時間と努力があること
ひとつの事業を実施するまでに行う、住民や他機関との打ち合わせや準備等にかなりの仕事量を費していること。
ひとつの保健事業に対して結果だけでなく、その事業に対する企画から評価まで全般のかかわりについて
ひとつひとつの仕事に誠意をもってとりくもうとしているところ
ひとつひとつの事業の目的を確認しながら行い、よりいい方法を考えようとしていること。住民と接する時の態度
ひとつひとつの事例からわかる問題点、矛盾などを地域特性と照らしあわせて、専門職として意見をもち情報提供できること
ひとつひとつの目標をみずえ、住民に信頼される保健事業の基盤(土台)作りに努力をしているという姿勢について、適切な評価をして欲しい。
ひとつひとつをできるだけ丁寧にやること
ひとつひとつ丁寧に当たるよう努力していること
ひとりひとりの事例を大切に關与していること
ひとりひとりの住民の声を大切に、ひとつの事例から地域全体の問題として考えていくこと
ひとり職種として仕事をしているため、いろいろな人と連携して仕事しているところ。
チームにおどられないで何が本当に必要かを常に人と人との関係性を考えてはいる
フォローが必要なケースに対して、ある程度のルートが整えられ方向性が見えてきたとき
フォロー一兎の把握 フォロー一兎教室での兎の個々の対応
ぶきょうだけでも、一生けんめいやっている(つもり)姿勢
ふだんから機会をとらえ連携先との関係づくりをしていることが、問題発生時に生かされていること
プライバシーの保護のため、連携する場合の内容や情報開示の範囲等、本人の了解をとることの他に、効果をあげるために必要な内容の検討を行っていること
フレキシブルに対応できる、ルーティン業務だけでなく 創意工夫がされていること、住民の直接の声、突撃に接れていること、科学的な視点も含んでいること
プロセスに要した努力や労力
ヘルステーション及び在宅介護支援センターの機能を生かし、職員全員力を合わせ、住民サービスを一生懸命行ない、住民の声を大切に、行政の政策に生かしていこうとする活動が重要であること。住民主体の活動をするための側面的援助活動は業務量を多く必要とするが重要な仕事であること。
ヘルスの仕事に加えて介護保険認定調査をしており、地域住民の健康に関わる仕事ができない。保健師本来の業務とは何か、首長に考えてほしい

ほとんどの事業についての評価が質より量を言われる。質を重視してほしい
ほとんど評価されていないので、どんな所でもよいので評価してほしい。
ボランティア組織と協力し、老人の健康の維持と痴呆予防の成果がある程度でていること。
マクロあるいは、ミクロに対応しているところ
マクロ的になりがちな見方を全体として、行政のどの部分を任い、必要とされている部分がどこを見極めて仕事をしていくこと
まさに看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていることを評価してもらいたいと考える。また人口構成等にもよるが特に高齢者の多い所では、行政サービスを広報や公文書の郵送等によって案内したとしても、なかなか意図した通りには伝わっていない事が多い。ほとんどの事務作業のスタートは申請からという一般事務職の方と違いそこに結びつくまでの対応も重要な行政サービスの一環であるという部分にかかわる職であること
まじめさ ひたむきさ
まじめに仕ごとしているところ。
まずは、上司や事務職に保健師の仕事や役割をきちんと理解してほしい。その上で自分が取り組んでいることを評価してほしい。ただ「忙しそう。」「訪問時間が長い。」などと業務内容を知らずにみるのではなく、何のために訪問等をしているのか、住民のためであることを理解してほしい。
まだ、覚えることで精一杯で、評価はむずかしいと思います
まだ、現在もっている業務を行っていくことやケースの対応に悩みながら、関わっていくことに精一杯なので、「どこを評価してほしいか」ということは難しい
まだ、仕事を始めてまもないため、評価してもらえるところは、あまりないと思いますが、1回学んだことは、必ず次にいかせるように努力しています
まだ、自信を持って仕事できていないので、わかりません
まだ、自分では不足していると思います
まだ、保健師としての経験も浅く、関わった事例、できる仕事は、少ない中で、高齢者の視点から見た、地域や健康問題を、大切にしている。統計処理をし、そこから得た、情報を事業、関わりの中に反映させていきたい。
まだ、保健師として経験が浅く、まだ評価して頂きたいところがみえてこないのが現状です。まずは、自分自身で自己評価し、自分の課題を明確にしていきたいと思います。
まだ、目の前の仕事をこなすのに精一杯で、そこまで考えられません。
まだ1年目であり、できる仕事をこなしているだけなので評価して欲しいところなど、今の段階ではわかりません。
まだ1年目で勉強中であるので、知識・経験は少ないが、日々、少しずつ色々なことを勉強していくので、1年後、相談の様子で変化をみてほしい。
まだ4年目なので、すべての行動の指導、助言評価をしてほしい。しかし、ケースに負われてしまっているが、ケース検討しきれていない。自分の力になってるかどうかが不安。しかし、ステュアード(新採の育成)にあたり、自分も省みる機会になったと思う。地区踏査が、まだ十分できているとは言いがたいので地区問題や目標が十分ではないと思う。市民からのニーズを十分に施策にできるように上司からきかれても十分解答できたりするように知識etcもつけていきたい。
まだそこまで行ってない
まだまだ、不十分なところばかりなので、答えが見つかりません。申し訳ありません。
まだまだいたらない点ばかりだが一生懸命、真面目に取り組んでいる点
まだまだこれからです。
まだまだ経験不足、知識不足であるが、住民と関わりながら学んだり、自分で勉強したりして、住民の役に少しでもたてるように努力していること
まだまだ担当業務を先輩に教わりながらこなすだけで精一杯なので余裕をもつことができませんが、とにかく日々まじめにがんばっていることを分かってもらえるだけで今は充分です。
まだまだ知識や技術を習得している段階なので、評価してもらえるところまでいっていないような気がするが、研修などで得た情報を健診の場に生かそうとしていること
まだまだ半人前ですが、今ある事業を、精一杯行っているところ
まだまだ勉強が不十分で、全てにおいて中途半端になっているように思います。
まだまだ未熟なところがあるが、決められた期限内に仕事をきっちりこなし、何事にも一生懸命取り組んでいるところ。
まだまだ未熟なので、自分では気付いていない点、不足している点について、助言してもらえると自分のためになると思う。
まだまだ未熟なので自分でこれを評価して欲しいと思えるような十分な成果が上がっているとはとても考えられません。
まだまだ未熟なので評価してもらえない所はないと思います。
まだよくわかりません
まだよくわかりません…。
まだよく分からない。
まだ経験が浅いので、人に評価される程の仕事をしているかどうかは？一つ、あげるとすれば…この仕事に就いてから、ずっと関わってきた機能訓練事業について、今年、県の研究発表の場で発表することでようやく、晋段、仕事をやる上で、他市町村の状況には、アンテナを張って仕事をやるように努めています。研究原稿を発表することで、事業のアピールにもなりますし、他市町村の情報をキャッチできる最適な場だと思っています。
まだ自信をもって仕事ができていると思えないので、ここを評価してほしいまで到達していません
まだ自分の満足できるように自分の仕事ができいません。周りから、評価してほしいと思うところもまだありません。
まだ受け身でのたたらきしかできていないと思うので、評価につながる仕事はこれからだと感じています。
まだ十分に仕事できておらず、情けないのですが… 住民・ケースのペース、思いを大切にしたいと思っています
まだ評価されるような仕事をしていない
まだ評価される段階ではない
まだ評価される部分がない。
まだ評価していただく段階にありません。強いて言えば、一生懸命がんばっている点、及び住民との交流を積極的にはかろうとしている点。
まだ評価してほしいと思えるような仕事できていないと思っているのでむずかしいです。(思ってもらえるような)
まだ評価してもらえないと思っています。業務は何でもこなす位しかないので…

わかりません。
わかりません。
わかりません。
わかりません。
わかりません。そんな風に考えて仕事をしたことがなかったので今後は考えてみたいと思います。
わかりません。誰かに評価してもらおうと思って、仕事をしていません。
わずかな経験であるが、1年間の精神科看護の経験を参考にしながら家族に視点を向けてケース対応していること。
以前からある事業の中でできるだけ新しい試みを実施しようと計画し実践しているところ
以前病院で働いていた知識を生かし、住民と関わりその人にあった指導を行うこと
委託業者との関係を大切にし業務ができる限り円滑にまわるよう配慮していること。
委託事業の中で住民の声を多くとらえているところ
委託料がかかろうと、休日健診を実施することにより、今まででなかなか時間、料金(医療機関だと高い)等で健診を受けられなかった人(特に若年者)が自分の健康状態を知り普段の生活を見直すきっかけとなって生活改善につながる
意識的に他機関・他職種へも関わりを求めているところ
意欲があるかどうか(自己学習も含めて)
医学的知識や家族内調整力を行政職としての役割を踏まえバランスよく実践していること。
医学的知識をもつ者として、地域住民(赤ちゃん～年寄りまで)の健康にたずさわっていて、家庭の中でおこる様々な問題・不安に対応して、そこから得た情報から事業の企画・運営をしていること
医療、看護のみにとらわれず生活者としてのその人全体を見ながら、問題点を見つけ個別対応を考える目を保健師を持っているのでは…
医療、看護職の立場で関わっているが、福祉の視点も配慮しながら、事業をすすめています。連携を密にし、各関係機関の足なみをそろえるようにしています。住民の声から、現在のその地域の健康問題を探るよう意識し、仕事をしております。
医療、看護職の立場で関わっているが、福祉の視点も配慮しながら事業をすすめています。連携を密にし、各関係機関の足なみをそろえるようにしています。住民の声から現在のその地域の健康問題を探るよう意識し、仕事をしております。
医療、保健、福祉の専門職としてケースワーク(困難事例多く)を行い、障害全般に渡り、かかわっていること、又、他機関、他職種との連携の良好き
医療、保健・福祉の連携を言われているが、やはり、分断された現状なので保健・医療の知識を生かした専門職として福祉と連携がとれた状況で住民サービスにかかわっていききたい。
医療・看護・保健の知識を活用した専門職として、住民の立場に立って考え活動しているところ
医療・福祉の現場で働いた経験を生かした関わりができること 住民を中心としたサービスを考えたいと思っていること
医療だけでなく、福祉の知識も生かし、他職種との連携やケアマネジメントを行っている
医療などの知識を生かしながら、住民の保健・福祉の向上をめざした活動を行っている。
医療の現場での経験を生かして住民と関わり、住民の視点から個を大切にしたい関わりをしていること
医療の専門職ではあるが、事務の仕事も他の一般職と同じように行なっていること。(保健師は事務ができないというイメージを持っている人がいる)
医療の知識と、対人関係の知識をベースに事業の企画を考えていること
医療や健康を切り口に個別対応し、集団教育も行える。ミクロとマクロの視点から地域、家族 個人をみることができる。それを事業に生かしている。
医療や福祉サービスになかなか結びつけることができない複雑な生活背景を持つ介入困難なケースを抱えていることを他職種や、社会全体にPHNの職務内容として理解してもらいたい
医療や福祉の情報を生かした専門職として、住民の相談業務をしていること。
医療や保健の知識を生かした専門職として住民と関わり、住民の声を大切にしたい事業企画・運営をしていること
医療従事者として地域住民と関わり、予防業務の一役を担っていること。
医療職でありながら、それ以外のコミュニケーション能力、調整力、発想など、いろんなスキルを用いて仕事を進める(なければならない)点。
医療職として、行政の立場から、事業を企画、運営できること。
医療職として及び公衆衛生の専門職として感染症、エイズの予防活動にたずさわって、事業の企画・実施をしていること
医療職として保健・医療の視点を活かしながら福祉の分野に携わっていること。予防の観点からのかかわりを重視していること。かかわりを持つケースも地域で生活する一員であり、本人家族だけでなく地域全体にも目を向けていること。
医療知識を元に、地区を把握して、その地区に必要な事業を企画、運営、評価していること
医療的な観点から相談や、事務を行っているところ
医療的な知識がある方が成果があがると思われる業務であるが事務職と同様に扱われるが専門職であることを認識(評価)してほしい
医療費、健診受診率、参加状況など数値的な評価が全てではなく数値ではあらわせないところ(住民の自主性をのばしたり、関連づくりを行っているなど→これを土台にグループができて、事業の実施につながる点)をもっと評価してほしい。
医療費の削減や効果は出難いが専門職として住民に関わっているプロセスを評価して欲しい
医療保健に関する知識、情報を住民にわかりやすいように伝えていること。
育児あけで復帰したばかりなので、日々の仕事におわれてしまい、家庭の事情で皆に迷惑をかけてばかりなので今の自分の仕事に関して評価してもらいたいと思う余裕がまだありません。
育児支援に関して 専門を生かした関わりをもてるよう 育児教室、相談など企画して活動していること
育児支援事業は専門職として、また自分の母親の立場として事業を考えていること
育児不安をもつ親へ解消できるよう丁寧に相談にのる
一つの観点から評価するのではなく、多角的に見て評価してほしい 例)専門知識を生かし、住民と関わっているか?市の政策を意識した取組みをしているか?企画、立案、実行、評価能力があるか?市民との対話を大切に、基本的人権を尊重しているか?など
一つの結論に達するまでに、多くの作業が含まれていること
一つの事業の実施にあたり、きっちと整理・評価をして次のステップへつなげる努力をしていること。

一つ一つの事業を見直しながら行っていること。
一つ一つの事例に対して誠意を持ってとりこんでいるところ。
一つ一つの地域事業に媒体など工夫し、企画、運営ともに地域の方と密に打ち合わせをしてのぞんでいること。
一応、勤務時間内で終わるところ
一応、仕事についてははじめに文句を言わず取り組んでいるつもりです。そして、住民の声も大切にしていきたいです。
一事例に関しての問題解決のための支援、コーディネート等地道な活動
一次予防を手段としたまちづくりの経験があること
一種類の質問への答えだけでなく他のニーズの把握にも努めていること
一緒に活動をする職種との連携を持ち事業をスムーズにすすめようとしているプロセス事業と事業、人と人をつなげるプロセス、専門的な知識や情報を人に伝え又他の職種の方や人々からの知識を合わせてさらなる効果を次に活用していく企画運営について
一人の人の生活の視点から、その人を支える援助を考えていること
一人一人のケースをよく把握しようと、ていねいに状況を聴きとろうとする姿勢と健康教育等は、住民さんに(一般の方に)わかりやすい説明をしようという心がけている所。行政職員として、親切、ていねい、信頼感を住民に持って頂けるように心がけています。
一人一人の住民の生活の質が向上するように相談、訪問を重視していること
一人一人の住民を声を大切にしているところ 責任感と一生懸命さ！
一人一人の出会いを大切に丁寧に丁寧に対応しよう心がけている
一人一人の対象者に対応していくことや市民の声を聞くことが政策etcにつながっていくこと。つながっていること。
一人一人を大切にしているところ
一人職種、専門職として知識を生かして住民と関わっているところ
一生けんめいやっているところ
一生懸命しているが、評価できるような仕事ができているのか分からない
一生懸命やっているところ。
一生懸命やっていると感じたときは、声をかけてもらえたらうれしい。
一対一の関係をきずき、対象者と信頼関係を持ち仕事に向かう姿勢
一度には把握しきれないことがあるが、段階的に情報を得て、処理しようとしているところ
一般の住民の方からは縁遠い存在としての、精神保健福祉を担当しているものとして、特別の人がなる疾病ではなく、もっと身近に、誰でもがなる病気ということでの“啓発について”知識を広めていきたい。精神保健は、大人になってから始まるのではなく、幼児期からの延長にあるということも含めて、啓発活動を充実させたい。
一般事務職に比べ対住民の仕事がほとんどであるが、実感を知っているが為に力を入れていきたい対応に理解を示してほしい。
一番住民に身近なところで仕事をしていると思っている。行政と住民をうまくつなげている部分は評価なり意見をいただけたらと思っています。
一方的なサービス提供ではなく、相手のニーズを大切にしているところ
一方的な保健指導・コミュニケーションを行わない
一面だけを見るのではなく全体をしっかり見て欲しい
運営している事業(予防事業)が実際に住民の方から喜ばれていること。
圏内に在籍している利用者・児やその保護者のニーズを把握した医療管理や健康教育の業務を行なっていること。
縁の下での力持ち的役割で表に出さず住民の活動を支援していること
応援、協力が不可欠な一人職種職場のため準備やまた逆に応援、協力をお返しすることに力を注いでいる。
何ができていて、何ができていないのか不明瞭になっている
何においても時間を守ること(期限など)
何らかのサービスにつながる前の準備を専門職としての力を発揮して行なっていること。専門職としての目をもっているから、課題をかかえた人を発見できたことや、発見後に、問題解決のために地道に人間関係をつくり上げながら、医療、保健、福祉の知識を生かして支援しているところ。利用者のモチベーションを高めたり、家族間の調整など困難なことを関連機関と連絡をとりながら、行なっているところ。
何らかの根拠を基に考察するところ
何回も住民さんと関わることで得た信頼関係をベースに一緒に地域を歩んでいくという視点から、少しでも健康増進のためにしていけること。
何人分処理したというような数的評価ではなく質の評価
可能な限り、住民の意見を集め、必要に応じてとり入れるようにしている。
可能な範囲で参加者や住民の声を反映させるようにしていること
家族全体や、子供から高齢者の健康づくりという視点で支援しているところ。
家庭訪問
家庭訪問、健診、相談の中で住民への個別フォローとそれをとりまく関係者と連携をとりながらかかわっていること。
家庭訪問、民生委員等、地域を中心に事業を計画運営していること
家庭訪問で市民の声を大切に、尊重していること
家庭訪問において、住民の不安の軽減や助言をしていること。
家庭訪問にて、住民と積極的に関わっていること
家庭訪問の対象ケースだけでなく、一般の地区住民と地区の相談や教育の場などで会い、その人の健康問題について話したい、地区がかかえる問題をさぐり、地区活動に生かしていこうとしているところ

家庭訪問や、地域での活動。(庁舎内ではわかりにくい活動)
家庭訪問や教室事業、又は、育児相談などの個別相談の中で、良好な母子関係が育めるよう支援していること。
家庭訪問や健康相談等、問題解決のための過程が目に見えにくい業務をこなしている点をもとめてほしい、また援助者として相当の精神的苦痛を感じていることも。
家庭訪問や相談等の活動を通して、共に問題解決していくことを大切にしている。
家庭訪問等、個々のケースとのかかわりやそれに関する関係機関との連携
家庭訪問等により、住民の生活実態を捉え、必要な者には継続して関わることを大切にしている事。他機関との連携を大切にしている事
稼働にあつた仕事をしたいと思ってます
課に1人だけの専門職なので、保健事業の企画・実施に関して各行政区の情報をあつめより住民に利用しやすいサービスを考え、実施に向けて調整を行っているところ
課にける相談業務や保健業務のほぼ全部にかかわっていること。
課内、外において仕事業務と人間関係の調整をすることが多いこと
課内、外において仕事業務と人間関係の調整をすることが多いこと
課内、保健センターの調整、人員配置、苦情処理など目に見えない事務が多い
課内に10種の専門職がいるので、それぞれの専門性が発揮されると共に、常に協力体制が整うよう、チームワークが図られるように配慮している。
課内や関係機関の職員と連携して仕事をすすめること
我町の首長が目指している「健康こそ町民の最大の財産」、それを達成するために保健、医療、福祉、教育が一体となり推進してきた地域包括ケア事業。住民の健康度や意識改革の向上、医療費の削減、要介護認定出現率の低下、元気高齢者の増加、地域介護力の向上(毎年ホームヘルパー養成を社協と連携し実施)等、安心して暮らせる町づくりが着実に成果として現われていることが、大きな評価と受けとめています。
画一的なやり方で対応することはできず、住民個々の生の意見を聞き事例に対応したり事業を立案していること
介護が必要な老人やその家族の相談にのり、本人・家族の意向に添った制度・サービスに、迅速につないでいること。
介護した経験を生かして実際に介護の方法を負担なくできるように指導していること。
介護の専門職と関わり、調整
介護支援専門員が提出する認定調査票を全てチェックし完全な資料として認定審査会の資料作成を行うこと。
介護支援専門員の質の向上をはかる(力量を高める)こと
介護全般についての苦情、相談のかかわりを大切にしている。
介護認定の申請が増えている中で、その認定に関わる業務も増えており、毎日の業務におわれている状態である。その中で専門職として電話や窓口での相談にのっていること
介護認定をスムーズに行うために対象者(家族)、および関係機関と十分に調整をしようとしている部分
介護認定をする係なので保健事業はないのですが、専門職として家族に対しての支援は必要と感じていますが、業務が別の係にあるためその連携をスムーズにしていっていか、実際に家族の訴えを最初に関心する私どもがやる事なのか(住民に対しては最初にかかわる人間が対応するのが一番だと思いますが)住民の声を十分にひき上げられていない事が問題だと感じてはいるのですが、どうしたらひき上げられるのか、まだ自分の仕事を充分に把握していないのでこれからつみあげていきたいと思えます
介護認定事務に留まらず、住民、ケアマネジャー、サービス提供事業者の調整をはかっていること。
介護認定審査会を運営するに当たり、医療面、行政面から適正な認定結果を出すために、審査委員さんへの助言、調査結果の平準化等細かいところで、調整を行ない、認定の質の確保を行なっているところ。
介護福祉としての仕事の中で保健師の専門職としての目で仕事しているが 大変な仕事と上司(事務職)に理解してもらっているもの 保健師の仕事としてとらえてもらうことがむずかしい
介護福祉としての仕事の中で保健師の専門職としての目で仕事しているが、大変な仕事と上司(事務職)に理解してもらっているもの保健師の仕事としてとらえてもらうことがむずかしい
介護保険がはじまり、ほぼ軌道にのってきているが反面、給付の適正化の取り組みができていない、市町村に事業所等に対して監督権が現在のところないが、その問題も含めて保健師としてケアプランのチェック、指導ができる体制の必要を感じる
介護保険というひとつの住民サービスの窓口として専門職として、住民へのきめ細かく幅広いかつ迅速な関わりができています
介護保険という制度の中で、保健師として、ケアマネジャーとして、市職員として、自分でできる業務は積極的にかつ問題意識をもって関わっていること。
介護保険に保健師が配置されているのだから専門性が発揮できるような業務への拡大が必要
介護保険に保健師をおく意味はほとんどなく、保健事業を中心に活動できるようにすべき。
介護保険の基点、要介護認定にかかわり、手引きにしたがいできるだけ公平な調査、公平な審査会の運営に参加できていること ケアマネとの連絡調整が取りやすく把握しやすい
介護保険の分野において、利用者にとって質のよいサービスが提供されるように、事業の企画、運営をしていること。
介護保険や高齢者福祉の分野で看護や医療の知識を生かして関係職種と情報交換をしたり住民を支援することができる職場で誰一の専門職なので保健と医療の分野から業務を理解し企画できるポジションとして重要である。
介護保険を含む65才以上の高齢者全てを対象としているため、個々の関わりから事業運営まで住民と色々な場で接することがあります。福祉の現場ではサービスの適正化、円滑化が最重要となりますので、他機関との連携も必須であり、やりがいのある楽しい仕事だと思っています。その部分を評価してもらえればと思います
介護保険課で保健師として、問題とする視点や指導内容が今後の介護保健事業に大きく影響してくると思う、専門職の必要性を評価してほしい
介護保険課に所属するが調査員としての立場であり、保健師としての業務は求められていない。相談、継続して関わる必要があるケース、他機関との連携を持ちながら関わるケース等、専門職として求められるところにも関わり、保健師としての立場を確立したい
介護保険課の中でも「要介護認定」に限られた業務をしているので、特別評価してほしいという気持ちはない。むしろ、なぜ介護保険課に保健師が配置されているのか、その専門性をどのように生かすのかを、人事課や管理職の方々にもっと考えていただきたい。もちろん認定も大切だが、介護予防やケアマネ支援、他の地域保健政策との連携など、より地域保健の専門性を生かす分野が他にもあると個人的には考えている
介護保険外の在宅療養者のコーディネート能力
介護保険業務の調査などを通して、在宅介護、施設介護の実態を知り得た、立場から、あるいは、介護に関する統計情報を分析し、不足するサービスの提言や、介護予防事業展開に向けて、企画、連携を行うようにしていること
介護保険事業が効率よく運営されるよう他機関との連携がされていること。介護相談員、老人相談員等と連携をとり介護予防事業を行なっていること。
介護保険事業の課の中で、予防(ヘルス)事業を安定化事業の一貫として、ビジョンや事業計画の企画を含めて、その実施について、権限としてやらせてほしい。つまり、介護保険事業の車の両輪として、重要課題を実行する事業を認めてほしい。
介護保険事業を進める中で、認定訪問調査に携わっているが文字でしか表現できずそれで評価されるため、簡単な作業と思われがちであり、評価が低いように感じる。そのため看護職として業務に関わることから住民の介護に対する思いは受けとめ大切にしているところを評価してほしい
介護保険室において保健師の活動で介護予防が大切であることを再認識した。又、日常の相談業務から保健師の配置が不可欠と思う。
介護保険新規申請者に対する認定調査を行っているため、見ず知らずの他人の家に入って行くことが多い。身の危険を感じることもあるため、その点を評価してほしい。
介護保険制度がスタートして高齢者の個別対応は減っている。担当地域の健康づくりというか住民をまきこんだ地域事業の企画調整が大きな業務になると思う。予算がなくても住民主体で地元が金をだせば仕事はできるわけで、地域にどれだけ根づいた仕事ができているかまた、全市同一のサービスは効率が悪くもあり、どれだけ地元事情に合わせてやっているかは評価してほしい

介護保険制度の趣旨などを十分理解し、利用者の状況に応じて適切なサービスの利用を紹介し、プランを作成し、常にサービスが公平に適切にうけられるよう調整していること。
介護保険制度の中で住民(申請者)の状況を正確に把握し適切に認定していくための作業を担っていること。
介護保険要介護認定調査においても、看護や医療の知識を生かした専門職としての視点でより細かく正確に対象者を把握できるよう努めていること
介護予防の仕事は、数などで表わしにくい 数値にとらわれない仕事の中味の評価をどのような形でわかってもらえるか、悩む
回答できません
回答拒否致します。
外部からは、健診など日時が決まった定例事業以外何をしているのかと思われているところがある。実際は毎日のようにある窓口や電話での相談など目に見えない業務をしていること。
各ケースに対して他の関係機関も含め広い視野で問題解決につとめようと努力していること
各ケースへの支援計画がきちんとできているかどうか
各ケースへの早急+均等なサービスの対応
各ケースへの早急+均等なサービスの対応
各々の母の育児不安に関する訴えを聞き、少しでも母親が精神的に楽になっていると思われる点
各関係機関との連携のもとに、各業務を実施していること
各個別のかかりから得た住民の声を大切にしている
各事業、教室に取り組む時、様々な工夫をし、住民の反応や、声を大切にしていること
各事業のつながりが生かせるようにしていること。
各事業担当や連携機関、住民からの情報を検討し、事業の充実を計っていること
各種予防教室 健康教育担当として、一次予防推進のため住民に分かりやすい、身近な問題として各自の健康問題をとらえていただけるよう内容を構成、はたらきかけていること。
各場面でのコーディネート力
各職場でつみあげてきた経験を生かせるような異動にしてほしい
各専門職間の調整 どの機関にも当てはまらない仕事をしていること
学校保健の分野において、保健師活動は、まだ実績がないため、担当し果たすべき役割は非常にある
学生の気質やレベルが変化していく中で教育の到達目標を低下させないように苦勞していること。
楽しく仕事ができるように心がけているところ。
楽しく仕事をしたいと思っているところ
楽しそうと思えば案ができる仕事だし頑張ろうと思えばきりがいい仕事。自主性、自律性を問われるところ
割当てられた仕事はできる限り責任をもって実施する、人の話はよく聞き、自分の考えも伝えている
活動により、対象者が疾病etcを回避し予防につながっているということ
活動結果がすぐに結果に表れず、目に見えない部分(わかってもらえない部分)があると思うのでそのあたりもわかってほしい
患者の状況や心理的な面を考えて仕事をしていること
患者管理や検診等もれなく、行うよう心がけていること
患者支援
感情をコントロールして、調整をはかっているところ
感染症に関係しているのでタイムリーな対応が必要であり、又実際に徘徊している方達とも関わるので、自分達へのリスクも高いところで仕事をしているところを評価していただけたらとありがたいです。
感染症や難病等の知識を生かして専門職として他機関と連携をとりながら事業を進めているところ 疾病の状況に応じた統計処理を行い、その感染状況について科学的なデータとして提示しているところ
感染症対策を担当しているため、心理的拘束が、長時間続いている点。
看護、医療の専門職としての意見を行政の場に投げかけ、必要な事業を実施していること。(関係者との連絡・調整、保健計画の策定、施策化への参画という活動に取り組んでいること)
看護、医療の知識+福祉の知識をふまえてケースと関われるところ、専門職や関係機関との連携をとっているところ
看護、医療の知識を生かし、個別相談業務をすすめているところ。対象の特性に合わせた対応に努力しているところ
看護、医療の知識を生かし、住民に関わっているところ
看護、医療の知識を生かした住民との関わりや、その情報を基にした事業の企画運営
看護、医療の知識を生かし総合的に相談に応じている点
看護、医療知識を生かし専門職として種々な業務に従事しているが、最近福祉業務の内容にも専門職としての対応を求められており、業務内容が広範囲になってきていること
看護、医療面、行政面等多様なものを少しずつでも情報があり、市民の皆さんに少しでもわかりやすく、かつ活用できるように楽しく伝え、手伝うこと。
看護、保健の知識を生かした住民とのかわり
看護、保健の知識を生かした専門職としての位置づけを明確化でき、地域住民に対してはもちろん、職場での関わりももちたい。(例えば、職員健診後、個人的に相談を受けるのではなく事後フォローの保健師として入り込みたい)健康福祉課の住民に対する仕事を保健師としてでなく、職場の健康管理もできる立場でありたい。
看護・医療・介護の少ない(?)けど知識を生かして、相談窓口業務をしたいと思っています。身障や福祉の相談もうけて、きちんと記録を残しておきたい。
看護・医療の視点で住民の生活を中心とした関わりをもち、そこから得た情報で保健事業を、すすめていく努力をしていること。
看護・医療の知識を生かした専門職として、住民と関わり、他機関やサービスへの紹介・連携をはかることで、次のステップに移行していること

看護・医療の知識を生かした専門職としての住民との関わり、住民の声を大切にしていること
看護・保健・医療の知識を生かした専門職として仕事をする
看護の視点から福祉分野へのかかわりの中で「予防」に重点をおいていること
看護の専門職として、住民の1番近くで活動しており、住民の声をよく聴くことができる立場にあること。
看護の専門職として、住民の方々と関わっていること
看護の専門職として活動していること
看護の専門性をもって事業を企画・運営している
看護の知識を生かした専門職として住民に関わり、地域の健康を護っている
看護の知識を生かした専門職として住民の立場に立って活動しているところ
看護や、医療の知識を生かしながらも、ケースの気持ちを大切に、問題を解決しようとしているところ。今までの事業を少しでも良くしようと、考えて、変えるよう努力しているところ、自分の意見を少しでも上司に理解してもらえるよう話し合いをもつこと(上司のいいなりにはならない様…町民のことを考えて…にしているつもり)
看護や医療、専門的な知識を生かし関係機関と連携しているところ
看護や医療、福祉等の知識から専門職として日々住民との関わりを持っている。関わりの中で出てきた課題を他職種に共有したり、事業の企画、検討している
看護や医療、保健分野、行政事務等の知識と経験を生かした専門職として、業務を行っているかどうかというところ。
看護や医療、保健分野の知識を生かした専門職として障害者(身体・知的・精神)やその家族、施設関係者等と関わり相談業務、事業の企画、運営をしていること。
看護や医療という専門知識の伝達だけではなく、生活に密接した感情や行動に寄り添い、相手の状況及び、専門的に状況判断をした時期etcに併せた関わりをしていること。
看護や医療に関する知識を持った上で専門職として住民の生活支援を行う「個の支援」から、地域全体をマストで「集団・地域の支援」をしていること。机上だけでなく、住民の生の暮らしにふれ、生の声に基づいて専門職として現状を分析し、事業さらには施策を企画・運営していること。
看護や医療の視点から重要だと思ふことを事務職員には伝わらないことがあり、もっと保健師としての意見を尊重して欲しい。
看護や医療の専門職の知識をいかして事業を企画運営していること
看護や医療の知識、そして福祉(介護)の現場等を知る専門職として認定業務が適切に遂行できるよう関係機関との調整ならびに指導を行っていること
看護や医療の知識、経験を生かして行政専門職として住民にサービスを提供できる
看護や医療の知識、訪問の経験を生かした専門職として介護認定調査員に関わり、適正な調査をできるよう研修、指導、助言をしていること。
看護や医療の知識をいかして住民主体の考えで事業を企画運営しているところ
看護や医療の知識をもち、かかわっていること 地域や人とのつながりを大切にそこから業務に反映させていこうとしているところ
看護や医療の知識を活かした専門職として住民とかかわっており、そこから学んだことを地区活動に活かして行く アンケートを取り住民ニーズを把握し地区活動に活かしている
看護や医療の知識を生かし、生活の視点から生活習慣変容の為に支援をしているところ
看護や医療の知識を生かし、専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画、運営をしている。
看護や医療の知識を生かした専門職として、健康問題の他にも生活上の問題を抱えた住民と関わり、相談対応していること。
看護や医療の知識を生かした専門職として、住民とかかわり、そこから得た情報を基に事業の企画、運営をしていること。
看護や医療の知識を生かした専門職として、住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。住民個々に合ったきめこまかい相談・指導をしているところ 専門職でありながら、事務職と全く同じ事務をこなしているところ
看護や医療の知識を生かした専門職として、住民の相談者として、一緒に問題を解決していること。
看護や医療の知識を生かした専門職として、住民一人一人の声を大切に、個に応じた対応を考え、ニーズに答えていること。一人一人の積み重ねを大切にしていること。
看護や医療の知識を生かした専門職として、地域の健康レベルのupを目指し、コツコツと活動していること
看護や医療の知識を生かした専門職としてケースの問題点を把握し関わっている。1つ1つの個別ケースの問題解決を通じて地域の介護予防ネットワークの構築に役立てられるようにと考えて業務にとり組んでいる。
看護や医療の知識を生かした専門職としての、住民との関わり
看護や医療の知識を生かした専門職としての関わり、相談指導技術及び関係職種との連携
看護や医療の知識を生かした専門職としての住民との関わりが、住民にとって満足(役立つ)するものであるように努力していること
看護や医療の知識を生かした専門職としての住民と関わっているところ
看護や医療の知識を生かした専門職としての住民へのかかわり、他機関との調整をしていること また住民の声をとりいれながら事業の運営をしていること
看護や医療の知識を生かした専門職としての保健師の仕事
看護や医療の知識を生かした専門職としての立場を理解して欲しい。
看護や医療の知識を生かした専門職として学生と関わり、そこから得た情報を基に臨地実習の企画や運営をしていること。
看護や医療の知識を生かした専門職として関係機関と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。
看護や医療の知識を生かした専門職として業務を遂行していること。
看護や医療の知識を生かした専門職として事業の企画・運営をしていること。保健師の業務に関しては、短期間では結果を出せないものや、結果が具体的に見えにくい部分もあることを踏まえ、評価してもらいたい
看護や医療の知識を生かした専門職として住民とかかわっていること。住民が自らより健康になれるよう住民と関わっていること
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わっていること
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わっていること
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わっているところ。
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、ケースの意向の代弁者になれるような対応を心がけていること
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報をスタッフに共有すること